

教育なよろ

令和4年度



一人一台端末を活用した授業風景（名寄南小学校）

名寄市教育委員会



市章

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展してく様子を表現しています
(平成18年3月27日制定)

名寄市民憲章

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

じぶん ほこ せきにな
自分のまちに誇りと責任をもち、

みんなであ
みんんで話し合いながら、

す
住みよいまちをつくります。

けんこう たいせつ
からだところの健康を大切にし、

たが あたた おも
互いに温かい思いやりをもって、

あんしん く
安心して暮らせるまちをつくります。

ゆた しぜん まも そだ
豊かな自然を守り育て、

しぜん ちょうわ く かんきょう
自然と調和した暮らしの環境をととのえ、

かいてき
快適でうるおいのあるまちをつくります。

たの はたら そうぞうりよく はつき
楽しく働き、創造力を発揮し、

ゆた く ほこ
豊かな暮らしを誇れる

かつりよく み
活力に満ちたまちをつくります。

ちせい かんせい
知性と感性をみがき、

ゆた ひと かお たか ぶんか はぐく
こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、

きぼう かがや
希望に輝くまちをつくります。

(平成19年2月26日制定)

【名寄市のシンボル】(平成18年7月25日制定)

市の木

「シラカバ」



市の花

「オオバナノエンレイソウ」



市の鳥

「アカゲラ」



目次

名寄市の概況

I 教育行財政

| | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 教育目標 | 1 |
| 2 | 教育推進計画全体構造図 | 2 |
| 3 | 教育委員会 | 3 |
| 4 | 名寄市の教育財政 | 6 |

II 学校教育

| | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 令和4年度名寄市学校教育推進計画 | 9 |
| 2 | 市内小中学校の概要 | 21 |
| 3 | 幼児教育 | 23 |
| 4 | 学校給食センター | 24 |
| 5 | 名寄市立大学 | 26 |
| 6 | 就学の助成 | 32 |
| 7 | 各種助成制度 | 35 |
| 8 | 名寄市教育研究所 | 36 |
| 9 | その他学校一覧 | 39 |

III 社会教育

| | | |
|----|----------------------------|----|
| 1 | 令和4年度名寄市社会教育推進計画 | 40 |
| 2 | 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 | 46 |
| 3 | 風連生涯学習担当・ 名寄市風連公民館の事業計画 | 51 |
| 4 | 名寄市智恵文公民館の事業計画 | 54 |
| 5 | 名寄市児童センター | 56 |
| 6 | 名寄市青少年センター | 60 |
| 7 | 名寄市教育相談センター | 61 |
| 8 | 名寄市北国博物館 | 62 |
| 9 | 市立名寄図書館 | 67 |
| 10 | なよろ市立天文台 | 69 |
| 11 | 学校体育施設開放事業利用状況 | 71 |

IV 資料

| | | |
|---|-----------|----|
| 1 | 審議会・委員会 | 72 |
| 2 | 旧名寄市教育の沿革 | 75 |
| 3 | 旧風連町教育の沿革 | 82 |
| 4 | 名寄市教育の沿革 | 86 |

名寄市の概況

1 位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.20km²の行政面積を有しています。

道路は南北に国道40号、東側に国道239号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。

気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。



2 沿革

風連地域は、明治32年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外3カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和28年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治33年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鍬が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和29年に旧智恵文村と合併後、昭和31年に北海道内21番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成18年3月27日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

3 人口と世帯数

令和4年5月末日現在 人口 26,259人 世帯数 14,250世帯

I 教 育 行 財 政

| | | |
|---|-------------------|---|
| 1 | 教育目標 ----- | 1 |
| 2 | 教育推進計画全体構造図 ----- | 2 |
| 3 | 教育委員会 ----- | 3 |
| 4 | 名寄市の教育財政 ----- | 6 |

1 名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は 郷土の歴史と文化を継承し 国際化の時代をしなやかにたくましく生き ともに支え合
い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

(制定 平成19年4月1日)

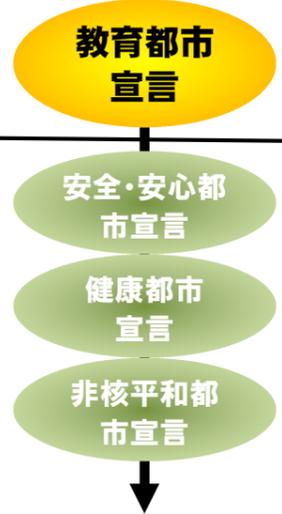
令和4年度 名寄市教育委員会 教育推進計画 全体構造図

名寄市民憲章 (平成19年2月26日制定)

- ・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくりまします。
- ・からだとこころの健康を大切に、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくりまします。
- ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくりまします。
- ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくりまします。
- ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくりまします。

名寄市教育目標
平成19年4月1日制定

- 1 北国の風土に生きたくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし心豊かな人をはぐくみまします
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き郷土の発展に尽くす人をはぐくみます



名寄市総合計画(第2次)中期計画
(2017年~2026年)

(基本理念)
人づくり 暮らしづくり 元気づくり

(基本目標)

- 1 市民と行政との協働によるまちづくり(市民参画・健全財政)
- 2 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉)
- 3 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり(生活環境・都市基盤)
- 4 地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり(産業振興)
- 5 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)**

(重点プロジェクト)

- 1 経済元気化プロジェクト
- 2 安心子育てプロジェクト
- 3 冬季スポーツ拠点化プロジェクト

- 学習指導要領
- 第3期教育振興基本計画(平成30年度~)
- 北海道教育推進計画(平成30年度~34年度)
- 上川管内教育推進の重点
- 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

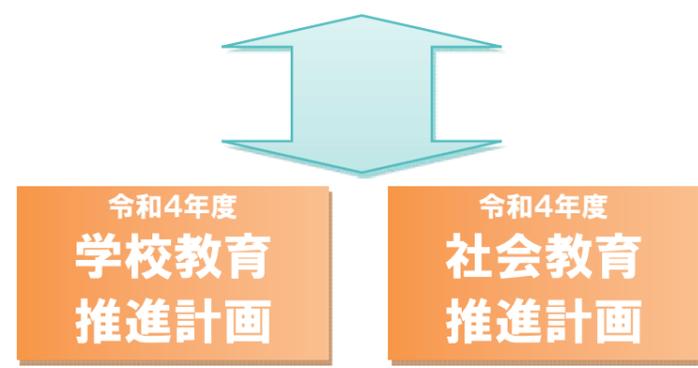
令和4年度教育行政執行方針

| 学校教育の重点施策 | 社会教育の重点施策 |
|-----------------------|-------------|
| ○確かな学力を育てる教育の推進 | ○生涯学習社会の形成 |
| ○豊かな心と健やかな体を育てる教育の推進 | ○家庭教育の推進 |
| ○特別支援教育の推進 | ○生涯スポーツの振興 |
| ○社会の変化に対応する力を育てる教育の推進 | ○青少年の健全育成 |
| ○信頼される学校づくりの推進 | ○地域文化の継承と創造 |
| ○安全・安心な教育環境の整備 | |
| ○高等学校教育との連携 | |

《主要施策》
~名寄市教育大綱~

- 1 幼児教育の充実
- 2 小中学校教育の充実
- 3 高等学校教育の充実
- 4 大学教育の充実
- 5 生涯学習社会の形成
- 6 家庭教育の推進
- 7 生涯スポーツの振興
- 8 青少年の健全育成
- 9 地域文化の継承と創造

| 学校教育の重点施策 | 社会教育の重点施策 | | | |
|--|---|--|--|--|
| 小中学校教育の充実 | 生涯学習社会の形成 | 家庭教育の推進 | 青少年の健全育成 | 地域文化の継承と創造 |
| <p><基本事業1></p> <p>「生きる力」を育てる教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会に開かれた教育課程の実現を目指した編成・実施・評価・改善 ○確かな学力を育てる教育の充実 ○豊かな心を育てる教育の充実 ○健やかな体を育てる教育の充実 ○特別支援教育の充実 ○社会の変化に対応する力を育てる教育の充実 <p><基本事業2></p> <p>信頼される学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域とともにある学校づくりの推進 ○教職員の資質の向上 <p><基本事業3></p> <p>安全安心な教育環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危機管理体制の確立 ○小中学校の適正な配置 ○学校施設・設備の整備 ○学校給食センター施設・設備の整備 | <p><基本事業1></p> <p>社会教育計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名寄市社会教育推進計画の策定 <p><基本事業2></p> <p>社会教育拠点施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育施設整備事業 <p><基本事業3></p> <p>生涯学習活動の推進と学習への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会教育施設間の連携と情報の共有 ○自主的学習活動支援事業 ○生涯学習フェスティバル事業 ○高齢者学級運営事業 ○生涯学習推進アドバイザーの設置 ○地域学校協働活動の推進 ○公民館分館事業 ○公民館市民講座 <p><基本事業4></p> <p>天体観測を活かしたまちづくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天文教育普及事業 ○開かれた研究観測事業 | <p><基本事業1></p> <p>家庭と地域の教育力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭教育学級事業 ○家庭教育支援事業 | <p><基本事業1></p> <p>青少年健全育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの体験学習・交流事業 ○青少年活動事業 ○青少年育成組織の活性化とPTAとの連携 ○子どもの安全安心を守る活動推進 ○教育相談体制の充実 <p><基本事業2></p> <p>子育て支援の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放課後児童クラブの充実 ○放課後子ども教室の充実 | <p><基本事業1></p> <p>文化芸術振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民と協働による文化芸術推進事業 ○市民文化祭事業 ○市民盆踊り大会 <p><基本事業2></p> <p>歴史や文化財の継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の歴史、自然、文化に関する普及啓発 ○文化財の保護と伝承活動の支援 |
| <p>高等学校教育との連携</p> <p><基本事業1></p> <p>就学機会の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○間口の確保 ・名寄市高校生資格取得支援事業 | | | | |



道教委の指定事業
令和4年度の指定事業

- 学校力向上に関する総合実践事業(道教委) ~第2ステージ~
- 小中一貫サポート事業(道教委)

令和4年度教育行政執行方針

3 教 育 委 員 会

1 教育長及び教育委員



教育長 小野 浩一
(～令和4年6月30日)



教育長 岸 小夜子
(令和4年7月1日～)



教育長職務代理者
松田 潤子



委員 高橋 雅樹



委員 中枝 範子

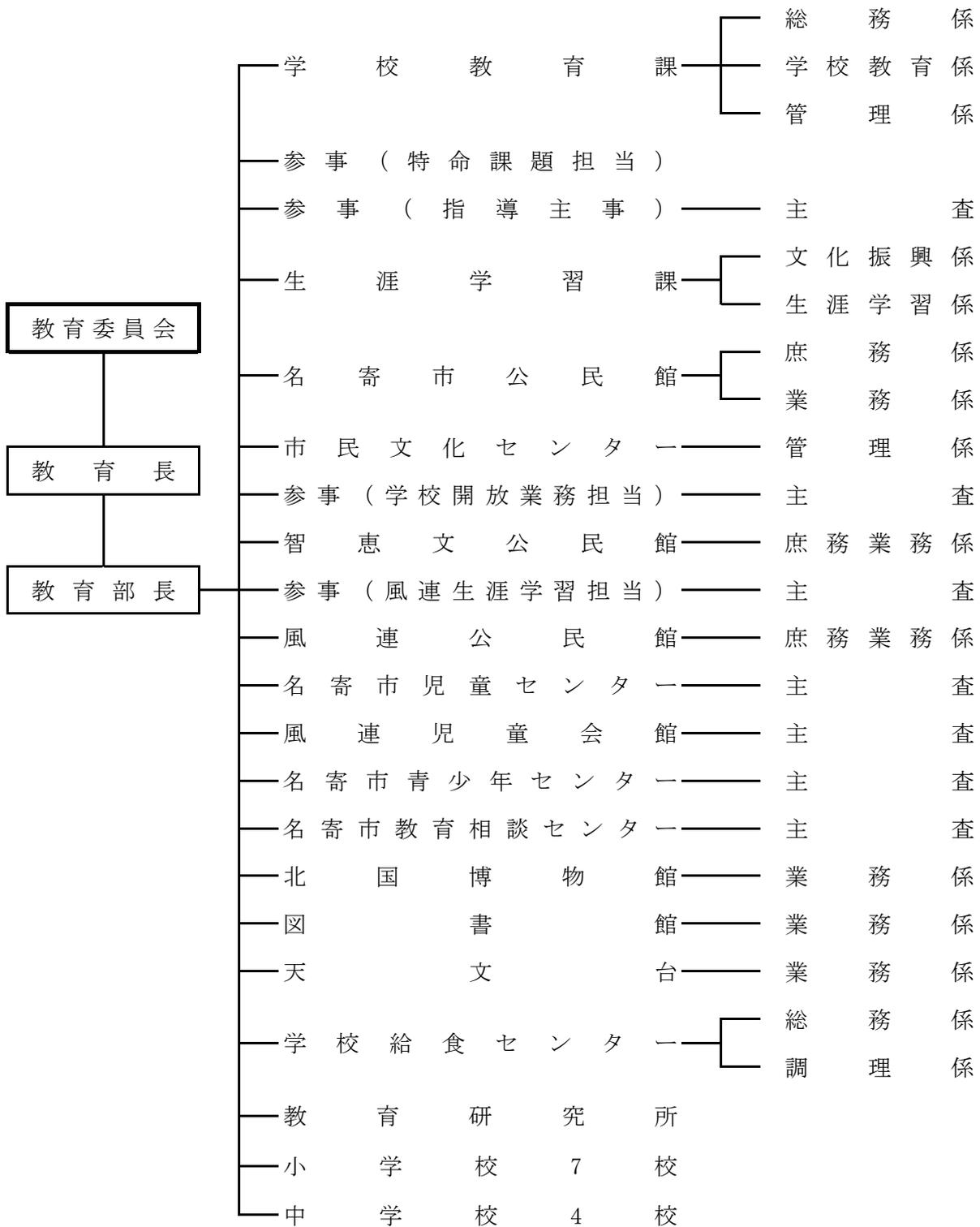


委員 梅野 新

教育長及び教育委員一覧

| | 氏 名 | 就 任 年 月 日 | 期 目 |
|----------|---------|------------|-------|
| 教 育 長 | 小 野 浩 一 | 平成23年7月1日 | 4 期 |
| 教 育 長 | 岸 小 夜 子 | 令和4年7月1日 | 1 期 目 |
| 教育長職務代理者 | 松 田 潤 子 | 平成20年5月16日 | 4 期 目 |
| 委 員 | 高 橋 雅 樹 | 平成25年4月1日 | 3 期 目 |
| 委 員 | 中 枝 範 子 | 平成29年5月16日 | 2 期 目 |
| 委 員 | 梅 野 新 | 平成30年5月16日 | 2 期 目 |

2 行政組織



3 名寄市教育委員会職員数

| | 教 育 部 長 | 課 長・館 長・参 事・所 長・主 幹 | 社 教 主 事 | 係 長 ・ 主 査 | 主 任 | 事 務 職 員 | 特 別 参 与 | 栄 養 士 | 教 育 職 員 | 外 国 語 指 導 助 手 | 会 計 年 度 任 用 職 員 | 計 |
|-----------------|------------------|------------------------------------|------------------|-----------------------|--------|------------------|------------------|-------------|------------------|---------------------------------|--------------------------------------|----------|
| | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 学 校 教 育 課 | | 1 | | 4 | 1 | 4(1) | | | | 2 | 62 | 74(1) |
| 参事(特命課題担当) | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 参事(指導主事) | | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 生 涯 学 習 課 | | 2 | (1) | 1(1) | | 5 | | | | | 4 | 12(2) |
| 名 寄 市 公 民 館 | | (1) | | (2) | | (5) | | | | | (1) | (9) |
| 市 民 文 化 セ ン タ ー | | (1) | | (1) | | (3) | | | | | (3) | (8) |
| 参事(学校開放担当) | | (2) | | (1) | | (3) | | | | | | (6) |
| 智 恵 文 公 民 館 | | (1) | | (1) | | | | | | | 1 | 1(2) |
| 参事(風連生涯学習担当) | | 1 | | 2 | | | | | | | 3 | 6 |
| 風 連 公 民 館 | | (1) | | (2) | | | | | | | (3) | (6) |
| 児 童 セ ン タ ー | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | 28 | 31 |
| 風 連 児 童 会 館 | | (1) | | (1) | | (1) | | | | | 6 | 6(3) |
| 青 少 年 セ ン タ ー | | (1) | | (1) | | (1) | | | | | 1 | 1(3) |
| 教 育 相 談 セ ン タ ー | | (1) | | (1) | | (1) | | | | | 4 | 4(3) |
| 北 国 博 物 館 | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | 5 | 8 |
| 図 書 館 | | 1 | | 2 | | | | | | | 14 | 17 |
| 天 文 台 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | 2 | 5 |
| 学 校 給 食 セ ン タ ー | | 1 | | 1(1) | | | | 道(1) | | | 31 | 33(2) |
| 教 育 研 究 所 | | | | | | | | | (191) | | | (191) |
| 計 | 1 | 11(9) | (1) | 14(12) | 2 | 11(15) | 0 | 道(1) | (191) | 2 | 161(7) | 202(236) |

※ () = 併任・兼務者数

4 名寄市の教育財政（令和4年度）

1 一般会計予算

【歳入】

(単位：千円)

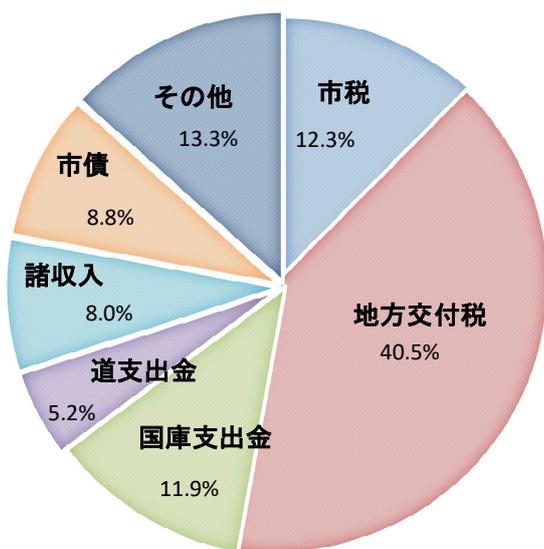
| 区 分 | 当初予算額 | 構成比 |
|-----------|------------|--------|
| 市 税 | 2,921,098 | 12.3% |
| 地 方 交 付 税 | 9,580,000 | 40.5% |
| 国 庫 支 出 金 | 2,823,450 | 11.9% |
| 道 支 出 金 | 1,239,593 | 5.2% |
| 諸 収 入 | 1,897,681 | 8.0% |
| 市 債 | 2,078,600 | 8.8% |
| そ の 他 | 3,137,475 | 13.3% |
| 計 | 23,677,897 | 100.0% |

【歳出】

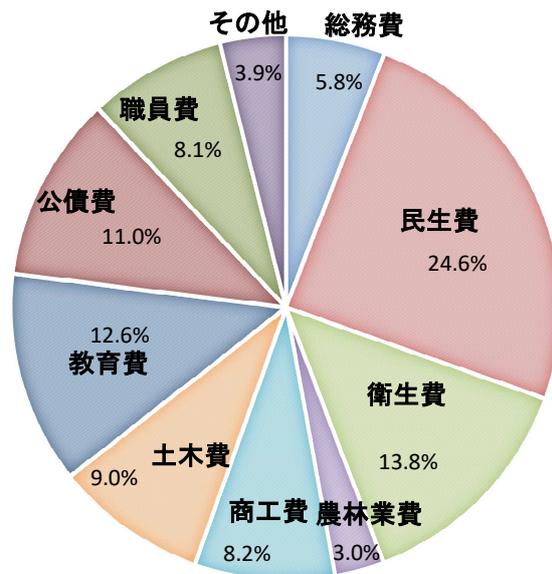
(単位：千円)

| 区 分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---------|------------|--------|
| 総 務 費 | 1,360,255 | 5.8% |
| 民 生 費 | 5,829,514 | 24.6% |
| 衛 生 費 | 3,268,591 | 13.8% |
| 農 林 業 費 | 698,831 | 3.0% |
| 商 工 費 | 1,947,317 | 8.2% |
| 土 木 費 | 2,127,834 | 9.0% |
| 教 育 費 | 2,992,066 | 12.6% |
| 公 債 費 | 2,612,901 | 11.0% |
| 職 員 費 | 1,927,797 | 8.1% |
| そ の 他 | 912,791 | 3.9% |
| 計 | 23,677,897 | 100.0% |

※歳入グラフ



※歳出グラフ



2 教育費の内訳

【歳入】

(単位：千円)

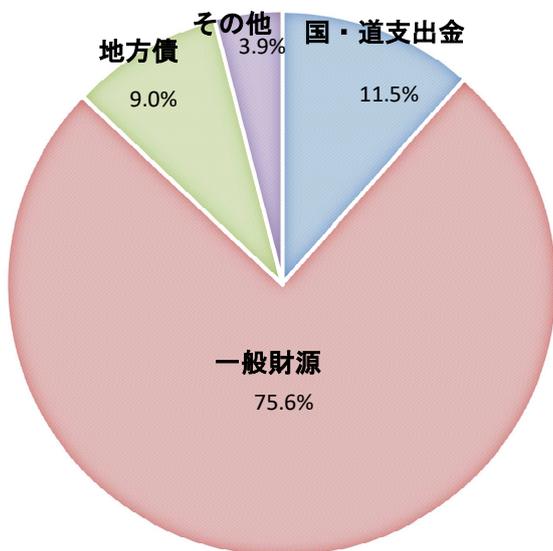
| 区 分 | 当初予算額 | 構成比 |
|--------|-----------|--------|
| 国・道支出金 | 343,464 | 11.5% |
| 一般財源 | 2,262,157 | 75.6% |
| 地方債 | 269,100 | 9.0% |
| その他 | 117,345 | 3.9% |
| 計 | 2,992,066 | 100.0% |

【歳出】

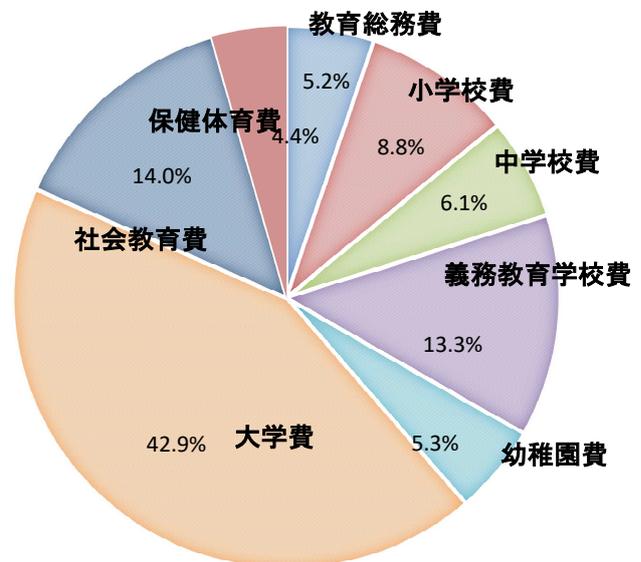
(単位：千円)

| 区 分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---------|-----------|--------|
| 教育総務費 | 154,670 | 5.2% |
| 小学校費 | 263,676 | 8.8% |
| 中学校費 | 181,969 | 6.1% |
| 義務教育学校費 | 396,549 | 13.3% |
| 幼稚園費 | 159,938 | 5.3% |
| 大学費 | 1,282,693 | 42.9% |
| 社会教育費 | 420,516 | 14.0% |
| 保健体育費 | 132,055 | 4.4% |
| 計 | 2,992,066 | 100.0% |

※歳入グラフ



※歳出グラフ



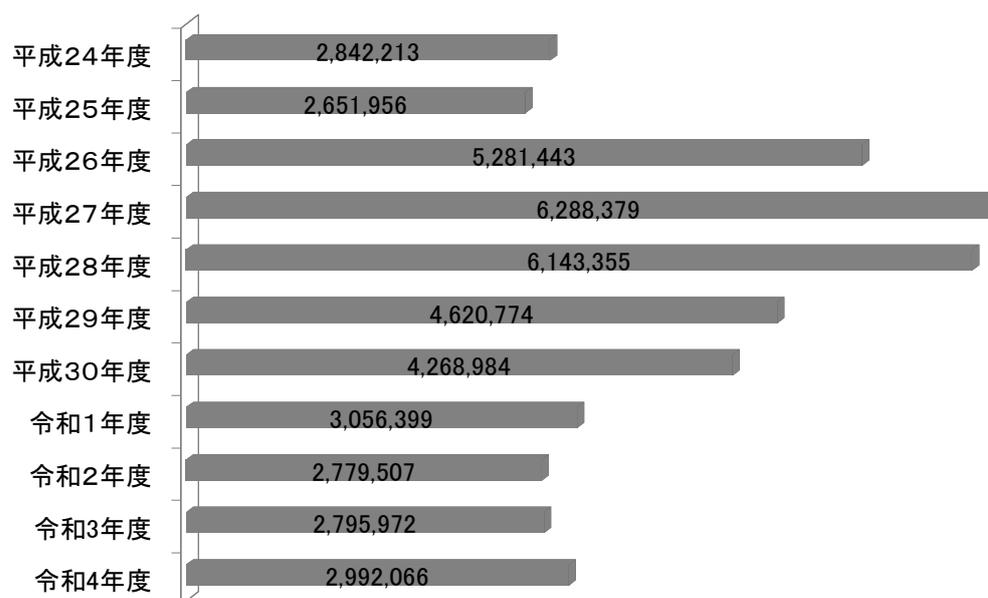
3 教育費予算

(単位：千円)

| 科 目 | (a) 令和4年度 当初予算額 | (b) 令和3年度 当初予算額 | (c) 比較増減 (a)-(b) | (d) 対前年比 (c) ÷ (b) × 100 |
|-----------|--------------------|--------------------|---------------------|-----------------------------|
| 教 育 費 | 2,992,066 | 2,795,972 | 196,094 | 7.0 |
| 教 育 総 務 費 | 154,670 | 138,809 | 15,861 | 11.4 |
| 小 学 校 費 | 263,676 | 298,195 | △ 34,519 | △ 11.6 |
| 中 学 校 費 | 181,969 | 178,564 | 3,405 | 1.9 |
| 義務教育学校費 | 396,549 | 0 | 396,549 | 100.0 |
| 幼 稚 園 費 | 159,938 | 150,776 | 9,162 | 6.1 |
| 大 学 費 | 1,282,693 | 1,287,531 | △ 4,838 | △ 0.4 |
| 社 会 教 育 費 | 420,516 | 404,954 | 15,562 | 3.8 |
| 保 健 体 育 費 | 132,055 | 337,143 | △ 205,088 | △ 60.8 |

4 教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

(単位：千円)



Ⅱ 学 校 教 育

| | | |
|---|------------------|-----|
| 1 | 令和4年度名寄市学校教育推進計画 | 9 |
| 2 | 市内小中学校の概要 | 2 1 |
| 3 | 幼稚園教育 | 2 3 |
| 4 | 学校給食センター | 2 4 |
| 5 | 名寄市立大学 | 2 6 |
| 6 | 就学の助成 | 3 2 |
| 7 | 各種助成制度 | 3 5 |
| 8 | 名寄市教育研究所 | 3 6 |
| 9 | その他学校一覧 | 3 9 |

令和4年度名寄市学校教育推進計画

1 「生きる力」を育てる教育の推進

これからの複雑で変化の激しい社会の中においては、子供たちが自信をもって自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくことができる生きる力を育成することが求められています。

そのため、各学校においては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することが大切です。

また、特別な配慮を必要とする子供たちの自立と社会参加を目指し、多様な子供たち一人一人の状況に応じ、それぞれがもつ能力を最大限に伸ばすきめ細かな教育を提供していくことが必要です。

【社会に開かれた教育課程の実現を目指した編成・実施・評価・改善】

- (1) 児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図る、いわゆるカリキュラム・マネジメントに努める。
- (2) 教育課程全体のバランスを図りながら、地域や学校及び児童生徒の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、創意工夫を生かした時間割を弾力的に編成するなどして、指導に必要な時間の実質的な確保に努める。
- (3) 教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努める。
- (4) 児童生徒に生きる力を育むため、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図る。
- (5) 児童生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、知識及び技能が習得されるようにすること、思考力、判断力、表現力等を育成すること、学びに向かう力、人間性等を涵養することが偏りなく実現できるようにする。

【確かな学力を育てる教育の推進】

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決する

ために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。

- (2) 児童生徒の発達の段階を考慮して、言語活動など、学習の基盤をつくる活動の充実に努めるとともに、家庭との連携を図りながら児童生徒の学習習慣が確立するよう配慮する。
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、児童生徒が「何のために学ぶのか」という学習の意義（資質・能力）を身に付ける授業改善に努める。また、学力向上の基盤として、教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃からの学年経営・学級経営の充実に努める。

【豊かな心を育てる教育の推進】

- (1) 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。
- (2) 学校における道徳教育は、「特別の教科 道徳」を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行う。
- (3) 学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊的活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験の充実に努める。
- (4) 児童生徒の豊かな感性や創造性を高めるため、学校・家庭・地域における読書活動の充実に努める。

【健やかな体を育てる教育の推進】

- (1) 児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて体育・健康に関する指導を適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。
- (2) 学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努める。
- (3) 生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう、家庭や地域社会との連携に努める。
- (4) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、児童生徒一人一人の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童生徒自らが体力・運動能力の課題の解決に取り組む指導の工夫改善に努める。

【特別支援教育の推進】

- (1) 障害のある児童生徒などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童生徒の障害等の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画

的に推進するよう努める。

- (2) 特別支援学級において実施する特別の教育課程については、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため自立活動を取り入れるとともに、各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えるなどして、児童生徒の実態に応じた編成に努める。
- (3) 障害のある児童生徒に対して、通級による指導を行い、特別の教育課程を編成する場合には、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行う。その際、効果的な指導が行われるよう、各教科等と通級による指導との関連を図るなど、教師間の連携に努める。
- (4) 特別支援学級の児童生徒及び通級による指導が行われている児童生徒については、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で教育的支援を行うために、個別の教育支援計画を作成、活用するとともに、障害のある児童生徒などへの各教科等の指導に当たっては個々の児童生徒の実態を的確に把握し、個別の指導計画の作成、活用に努める。
- (5) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応するため、校内における全校的な支援体制を確立し、特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実に努める。
- (6) LDやADHD、自閉スペクトラム症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談を活用しつつ家庭や医療・福祉等の関係機関と連携して、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。
- (7) 障害による学習上、生活上の困難を主体的に改善・克服するため、授業における積極的なICT機器の活用などを通して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。
- (8) 小学校では、一日入学時において、保護者に就学前の児童の様子を記載する「すくらむ」の様式を配付し説明するとともに、「すくらむ」を必要とする保護者には、直接全様式を配付して活用を促すなど、名寄版個別の支援計画「すくらむ」を効果的に活用して、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援の充実に努める。

【社会の変化に対応する力を育てる教育の推進】

キャリア教育

- (1) 児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実に努める。
- (2) 校長のリーダーシップのもと、校内の組織体制を整備し、学年や学校全体の教師が共通の認識に立って指導計画の作成に当たるなど、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育の効果的な推進に努める。
- (3) 職場見学や職場体験活動、社会人講話等を効果的に実施し、児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実に努める。

- (4) 小学校においては、将来の生活や社会と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- (5) 中学校においては、現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考え、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しをもったり振り返ったりする機会を設けるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- (6) 児童生徒が自分のよさに気付き、将来の夢や目標の実現に向けて学び続けることができるよう、キャリア教育に関する学習活動の記録を蓄積し、必要に応じて振り返ることができるキャリア・パスポートの効果的な活用に努める。
- (7) 産業構造や進路を巡る環境の変化等について、保護者・地域との共通理解を図りながら、児童生徒が社会の中での自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけの充実に努める。
- (8) 児童生徒に、自分が社会の一員であり主権者であるという自覚をもたせることができるよう、社会科や総合的な学習の時間などにおいて、児童生徒の発達の段階に応じた学習の充実に努める。

国際理解教育

- (1) 姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、A L Tやネイティブ・スピーカーの活用を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。

情報教育

- (1) 児童生徒にコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するなどの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するため、G I G Aスクール構想における児童生徒一人一台端末や必要な I C T環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実に努める。また、各種の統計資料や新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用に努める。
- (2) 小学校では、各教科等において、コンピュータの基本的な操作を確実に身に付けるための学習活動やプログラミング教育の充実に努める。
- (3) 中学校では、各教科等において、情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。
- (4) 児童生徒の発達段階を踏まえ、情報技術が急速に進化していく時代にふさわしい情報モラルを確実に身に付けさせるとともに、目的に応じてコンピュータ・情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。

2 信頼される学校づくりの推進

学校と家庭・地域が教育活動の目標を共有し、ともに協働して組織的に課題に対応する「地域とともにある学校」をつくり、子供たちに社会で生きて働く力や生涯にわたって学び続ける態度を育てることが大切です。

また、教職員一人一人の学校経営参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる研修を充実し、教職員の資質向上を図ることが必要です。

【地域とともにある学校づくり】

- (1) 全教職員が自主的・主体的に学校運営に参画し校務を遂行する組織マネジメントの充実に努める。その際、文科省や道教委の指定事業の趣旨を踏まえた取組の充実に努める。
- (2) 学校と家庭・地域が教育活動の目標を共有し、ともに協働して組織的に課題に対応するコミュニティ・スクールと地域学校協働本部が相互に補完し高め合う存在として、「地域とともにある学校づくり」の充実に努める体制の強化と地域学校協働活動の充実に努める。また、すべての地域のコーディネーターで構成する地域学校協働本部連絡協議会において、各コミュニティ・スクールの活動状況や課題等を共有したり、地域コーディネーターの役割等に係る研修会を開催するなど、地域コーディネーターの資質向上に資する取組の推進に努める。

今後は、新設高校に導入を予定している学校運営協議会との連携も視野に入れながら、「地域とともにある学校づくり」の一層の充実に努める体制強化と、地域人材バンクを効果的に活用した地域学校協働活動の充実に努める。

- (3) 幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校の各学校段階間の円滑な接続に配慮した教育の推進に努める。とりわけ、小・中学校においては、学校や地域の実態に応じて、9年間を通じた教育課程の編成による小中一貫教育の推進に努める。

風連地区においては、令和2年度に立ち上げた「風連地区小中一貫教育推進委員会」による取組の一層の充実に努める。智恵文地区においては、道教委の「小中一貫教育サポート事業」の指定事業を活用し、令和6年度から系統性・連続性を強化したカリキュラムの編成・実施が可能となる、義務教育学校の開校に向けた取組の推進に努める。

- (4) 学校や地域の実態等に応じ、教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭・地域の人々の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深めることや、高齢者や異年齢の子供など地域における世代を越えた交流の機会の設定に努める。
- (5) 他の小・中学校や幼稚園、認定こども園、保育所、高等学校、特別支援学校などとの連携や交流を図るとともに、障害のある幼児・児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むよう努める。
- (6) 学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が学校運営の中核になることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう努める。

- (7) 教育目標を効果的に達成するため、全教職員が年度の重点教育目標等を共有し、協働して取り組む組織体制の確立と、学校評価、学校職員人事評価など、学校改善に生かす評価の工夫に努める。
- (8) 教職員が子どもと向き合う時間の確保に向けた、学校における働き方改革の取組の推進に努める。
- (9) 道教委の指定事業の趣旨を踏まえた取組の充実に努める。
- (10) 学校や地域の実態を踏まえ、教職員の意識改革や短期的な検証改善サイクルを構築するなど、実感の伴う学校における働き方改革の推進に努める。
- (11) 部活動改革では、国が示した「段階的な地域部活動への移行」と「合理的で効果的な部活動の推進」という2つの視点から、教師の負担軽減と生徒の活動機会の確保を両輪とした「NAYOROスタイル 部活動改革推進事業」の推進に努める。

【教職員の資質向上】

- (1) 名寄市教育改善プロジェクト委員会による全小中学校共同で行う研修会や、ミドルリーダーのマネジメント力を高める研修会等を通して、教職員のキャリアステージに応じて求められる資質能力の向上に努める。
- (2) 今日的な教育課題の解決に向けて、名寄市教育研究所の研究班活動や第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組等との連携を図り、小中学校が一体となった研修の推進に努める。
- (3) 学校の教育課題の解決に向けて、教職員一人一人の参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる校内研究(研修)の推進に努める。
- (4) 教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など、教職経験に応じた研修の充実に努める。
- (5) 校内研修等において服務規律ハンドブック等を活用し、服務規律の保持の徹底に努める。

3 安全安心な教育環境の整備

子供たちが安心して学ぶことができる教育環境を確保するため、事件・事故等の要因となる危険を早期に発見し、速やかに対応する危機管理体制を確立することが大切です。

【危機管理体制の確立】

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実に努め、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
- (3) 教室や職員室など校舎内外の日常的な美化・整理整頓を行い、安全で潤いのある教育環境の整備に努める。

教育指導

1 学習指導

- (1) 各教科等の指導内容については、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む効果的な指導ができるようにする。
- (2) 児童生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実に努める。
- (3) 言語能力の育成を図るため、必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要として各教科等の特質に応じて、児童生徒の言語活動の充実に努める。
- (4) 児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れた指導の充実に努める。
- (5) 各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施するよう努める。
- (6) 児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習の促進に努める。
- (7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的・対話的で深

い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実に努める。また、地域の図書館や博物館などの施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動の充実に努める。

- (8) 授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うよう、全小中学校で一貫して取り組む学習規律や学校として必要な学習規律の徹底に努める。
- (9) 児童生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の習得を含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、児童生徒や学校の実態に応じ、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れるなど、指導方法（G I G Aスクール構想における児童生徒一人一台端末等の活用を含む）や指導体制等の工夫改善により、個に応じた指導の充実に努める。
- (10) 児童生徒の進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにするとともに、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果をとらえ、指導の改善や学習意欲の向上を図る評価の工夫に努める。
- (11) 学級が一人一人の児童生徒にとって存在感を実感できる場となるよう、教師の確かな児童生徒理解に基づき、支持的な学級風土を醸成するとともに、集団の一員として一人一人の児童生徒が安心して自分の力を発揮できる学級経営の充実に努める。
- (12) 思考力・判断力・表現力の育成に資する「書く」活動を取り入れた指導や、I C T機器の効果的な活用、小中学校の加配教員等を活用した小学校高学年における理科の専科指導の推進に努める。
- (13) 天文台のプラネタリウム等の地域の教育資源を活用した授業や、名寄市立大学の学生支援員の積極的な活用、家庭・地域と連携した家庭学習の充実に努める。

2 道徳教育

- (1) 校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実に努める。
- (2) 道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導に努める。
- (3) 児童生徒自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような工夫に努める。
- (4) 児童生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、小学校においては自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動、中学校においては自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実に努める。
- (5) 児童生徒の発達段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法の工夫に努める。

- (6) 児童生徒の発達の段階や特性等を考慮し、情報モラルに関する指導の充実に努める。
- (7) 道徳科の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発・活用などに家庭・地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭・地域社会との共通理解を深め、相互の連携に努める。
- (8) 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。
- (9) 小学校では名寄出身の力士である名寄岩を題材とした読み物資料、中学校では名寄市の木原天文台を建設した故木原英雄氏を題材とした読み物資料を使用した道徳科の授業実践に努める。
- (10) 市民文化センターE N-R A Yホールを活用した小中学校音楽発表会等の取組を通して、児童生徒の道徳性を養うよう努める。

3 総合的な学習の時間

- (1) 探究的な学習の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動の充実に努める。
- (2) 探究的な学習の過程においては、G I G Aスクール構想における児童生徒一人一台端末などを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの工夫に努める。
- (3) 自然体験やボランティア活動、中学校における職場体験活動等の社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れるよう努める。
- (4) グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ、全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制の工夫に努める。
- (5) 体験活動については、各学校において定める目標及び内容を踏まえ、探究的な学習の過程に適切に位置付けるよう努める。
- (6) 学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用に努める。
- (7) 国際理解に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動の充実に努める。
- (8) 情報に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動の充実に努める。
- (9) 中学校において、職業や自己の将来に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動の充実に努める。

4 特別活動

- (1) 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動の指導については、指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、児童生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。その際、よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などの充実に努める。
- (2) 児童生徒及び学校の実態並びに道德教育の重点などを踏まえ、各学年において取り上げる指導内容の重点化に努める。
- (3) 学校生活への適応や人間関係の形成などについては、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の趣旨を踏まえた指導の充実に努める。
- (4) 異年齢集団による交流を重視するとともに、幼児、高齢者、障害のある人々などとの交流や対話、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を通して、協働することや、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることの喜びを得られる活動の充実に努める。

5 生徒指導

- (1) 児童生徒の自己実現を図るため、学習指導を含む日常の学校生活において、児童生徒の発達段階に応じた自己選択や自己決定の場や機会を設定し、自己指導能力を育成する取組の充実に努める。
- (2) 主に集団の場面で行う必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により、児童生徒の発達の支援の充実に努める。
- (3) 児童生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていけるよう、児童生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実に努める。
- (4) いじめや不登校、薬物乱用、ネット上のいじめや出会い系サイト等による福祉犯被害、新型コロナウイルスに係る偏見・差別などの未然防止を図り、早期発見・早期指導を行うため、校内の協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会、名寄市生徒指導・補導協議会や教育相談センター、名寄市立大学等の関係機関との連携強化に努める。
- (5) 学校いじめ防止基本方針に基づき、校長の強力なリーダーシップのもと、教職員の一致協力体制を確立し、名寄市教育委員会と適切な連携を図りながら、昨年度「名寄市小中高いじめ防止サミット」において採択された「名寄市小中高コロナいじめゼロ宣言」の浸透など、児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。
- (6) 不登校児童生徒については、保護者や関係機関及び本市任用のスクール・ソーシャルワーカーと連携を図り、心理や福祉の専門家の助言又は援助を得ながら、社会的自立を目指す観点から、個々の児童生徒の実態に応じた情報の共有や支援体制の構築に努める。また、GIGAスクール構想によって配付されている一人1台端末を効果的に活用しな

がら必要な学習支援に努める。

- (7) 海外から帰国した児童生徒については、学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かすなどの適切な指導に努める。

6 健康教育

- (1) 体育に関する指導については、児童生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにするため、教科としての体育科、保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図るとともに、学校教育活動全体を通じた効果的な取組の充実に努める。

※学校教育活動全体を通じた効果的な取組例

小学校：運動系のクラブ活動、運動会、遠足や集会などの特別活動や教育課程外の学校教育活動など

中学校：体育大会・体育祭、遠足や集会などの特別活動や運動部活動など

- (2) 生涯スポーツの観点に立ち、スキー、カーリングなど地域の教育資源を生かした活動や縄跳びなど各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」の取組等の充実に努める。
- (3) 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、課題となっている体力を高めるための実技研修会を実施したり、体育の指導方法等の工夫改善を図るなど、体力向上の取組の充実に努める。とりわけ、「50m走」については、スポーツ・合宿推進課と連携しながら改善に努める。
- (4) 健康に関する指導については、児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努める。
とりわけ、児童生徒が新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解し、適切に行動できるよう指導の充実に努める。
- (5) 食育の推進においては、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることにより、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育んでいくための基礎が培われるよう、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性などの指導の充実に努める。
- (6) 食に関する指導に当たっては、体育科における望ましい生活習慣の育成や、家庭科における食生活に関する指導、特別活動における給食の時間を中心とした指導などを相互に関連させながら、学校教育活動全体として効果的に取り組む。
- (7) 食に関する指導に当たっては、栄養教諭等の専門性を生かすなど教師間の連携に努めるとともに、地域の産物を学校給食に使用するなどの創意工夫を行いつつ、学校給食の教育的効果を引き出すよう取り組む。
- (8) 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実施や給食指導等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど食育の充実に努める。
- (9) 食物アレルギーを有する児童生徒が安全に学校給食を楽しむことができるよう、児童生徒の実態等を踏まえた適切な対応に努める。

2 市内小中学校の概要

1 市内小学校一覧

(令和4年5月1日現在) ※ 教員数には管理職含み休職者は含まない

| 学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話・FAX番号 | 児童数 | | 学級数 | 教員数 | 養護 | 栄養 | 事務 |
|----------|-------|---------------|------------------------------|-----|-------|-----|-----|----|----|----|
| | | | | 特学 | 普通 | | | | | |
| 名寄小学校 | 小野 直久 | 西1条南1丁目2番地 | 01654-3-3304 01654-3-3305 | 特学 | 14 | 5 | 7 | | | |
| | | | | 普通 | 149 | 6 | 9 | 1 | 1 | 1 |
| 名寄南小学校 | 鈴木 豊 | 西6条南12丁目55番地2 | 01654-2-4164 01654-2-4165 | 特学 | 18 | 6 | 8 | | | |
| | | | | 普通 | 441 | 14 | 22 | 1 | | 1 |
| 名寄東小学校 | 民輪 伸幸 | 東3条南3丁目11番地 | 01654-2-2041 01654-2-4179 | 特学 | 13 | 5 | 7 | | | |
| | | | | 普通 | 151 | 6 | 10 | 1 | | 1 |
| 名寄西小学校 | 小林 勝彦 | 西7条南1丁目18番地 | 01654-2-4177 01654-2-4178 | 特学 | 28 | 6 | 9 | | | |
| | | | | 普通 | 216 | 9 | 12 | 1 | | 1 |
| 中名寄小学校 | 早坂 昌俊 | 字日彰285番地 | 01654-2-3889 01654-9-5640 | 特学 | 2 | 2 | 2 | | | |
| | | | | 普通 | 13 | 3 | 4 | 1 | | 1 |
| 智恵文小学校 | 太田 健 | 字智恵文12線南3番地 | 01654-8-2241 01654-9-3550 | 特学 | 4 | 3 | 4 | | | |
| | | | | 普通 | 13 | 3 | 4 | 1 | | 1 |
| 風連中央小学校 | 石坂 剛 | 風連町西町201番地 | 01655-3-2031 01655-3-2569 | 特学 | 10 | 4 | 6 | | | |
| | | | | 普通 | 100 | 6 | 8 | 1 | | 1 |
| 計 小学校 7校 | | | | 特学 | 89 | 31 | 43 | | | |
| | | | | 普通 | 1,083 | 47 | 69 | 7 | 1 | 7 |

2 市内中学校一覧

(令和4年5月1日現在) ※ 教員数には管理職含み休職者は含まない

| 学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話・FAX番号 | 生徒数 | | 学級数 | 教員数 | 養護 | 事務 |
|----------|-------|--------------|------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| | | | | 特学 | 普通 | | | | |
| 名寄中学校 | 妹尾 洋美 | 字豊栄101番地1 | 01654-2-2147 01654-2-2148 | 特学 | 11 | 5 | 6 | | |
| | | | | 普通 | 263 | 8 | 18 | 1 | 2 |
| 名寄東中学校 | 櫻庭 一也 | 西2条北8丁目1番地3 | 01654-2-3174 01654-2-3175 | 特学 | 11 | 3 | 4 | | |
| | | | | 普通 | 217 | 7 | 17 | 1 | 1 |
| 智恵文中学校 | 鎌田 昌記 | 字智恵文11線北2番地 | 01654-9-3010 01654-9-3011 | 特学 | 3 | 3 | 3 | | |
| | | | | 普通 | 19 | 3 | 9 | 1 | 1 |
| 風連中学校 | 中村 公暢 | 風連町新生町167番地1 | 01655-3-2026 01655-3-2266 | 特学 | 7 | 4 | 5 | | |
| | | | | 普通 | 58 | 3 | 10 | 1 | 1 |
| 計 中学校 4校 | | | | 特学 | 32 | 15 | 18 | | |
| | | | | 普通 | 557 | 21 | 54 | 4 | 5 |

※小・中学校とも「電話・FAX番号欄」は、上段が電話番号、下段がFAX番号

3 小中学校児童生徒数の推移

(1) 小学校

(各年度5月1日現在)

| 年次 | 区分 | 学校数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 児童数 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 平成2年度 | 風連地区 | 1 | 16 | 16 | 20 | 23 | 25 | 22 | 122 |
| | 名寄地区 | 6 | 172 | 209 | 194 | 169 | 172 | 192 | 1,108 |
| | 計 | 7 | 188 | 225 | 214 | 192 | 197 | 214 | 1,230 |
| 令和3年度 | 風連地区 | 1 | 17 | 16 | 17 | 19 | 22 | 25 | 116 |
| | 名寄地区 | 6 | 191 | 166 | 202 | 185 | 171 | 170 | 1,085 |
| | 計 | 7 | 208 | 182 | 219 | 204 | 193 | 195 | 1,201 |
| 令和4年度 | 風連地区 | 1 | 20 | 17 | 16 | 17 | 18 | 22 | 110 |
| | 名寄地区 | 6 | 179 | 182 | 165 | 197 | 177 | 162 | 1,062 |
| | 計 | 7 | 199 | 199 | 181 | 214 | 195 | 184 | 1,172 |

(2) 中学校

(各年度5月1日現在)

| 年次 | 区分 | 学校数 | 1年 | 2年 | 3年 | 生徒数 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 令和2年度 | 風連地区 | 1 | 21 | 35 | 20 | 76 |
| | 名寄地区 | 3 | 186 | 195 | 164 | 545 |
| | 計 | 4 | 207 | 230 | 184 | 621 |
| 令和3年度 | 風連地区 | 1 | 20 | 21 | 34 | 75 |
| | 名寄地区 | 3 | 186 | 183 | 193 | 562 |
| | 計 | 4 | 206 | 204 | 227 | 637 |
| 令和4年度 | 風連地区 | 1 | 23 | 20 | 22 | 65 |
| | 名寄地区 | 3 | 163 | 182 | 179 | 524 |
| | 計 | 4 | 186 | 202 | 201 | 589 |

4 中学校卒業生の進路状況

(各年度3月31日の状況)

| 年次 | 区分 | 卒業生数 | 進学者 | | 就職者 | | その他 | |
|------------|------|------|-----|-------|-----|------|-----|------|
| | | | 人数 | 率(%) | 人数 | 率(%) | 人数 | 率(%) |
| 令和元年 3月 | 風連地区 | 23 | 23 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 185 | 184 | 99.5 | | | 1 | 0.5 |
| | 計 | 208 | 207 | 99.5 | | | 1 | 0.5 |
| 令和2年 3月 | 風連地区 | 25 | 25 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 182 | 181 | 99.5 | | | 1 | 0.5 |
| | 計 | 207 | 206 | 99.5 | | | 1 | 0.5 |
| 令和3年 3月 | 風連地区 | 20 | 20 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 166 | 164 | 98.8 | | | 2 | 1.2 |
| | 計 | 186 | 184 | 98.9 | | | 2 | 1.1 |
| 令和4年 3月 | 風連地区 | 34 | 34 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 189 | 186 | 98.4 | | | 3 | 1.6 |
| | 計 | 223 | 220 | 98.7 | | | 3 | 1.3 |

3 幼児教育

本市には、認定こども園が3園、私立幼稚園が2園あり、それぞれの園において認定こども園教育・保育要領又は幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。これまでの私立幼稚園振興補助並びに幼稚園就園奨励費補助による助成・支援を行っていた制度から、全ての園が平成27年度施行の子ども・子育て支援法に基づく施設型給付費による施設運営に移行しています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

1 名寄市内の認定こども園・幼稚園

(令和4年5月1日現在)

| 幼稚園名 | 住 所 | 電 話 | 代表者 | 設立年月日 | 就園状況 | | | 合 計 |
|-----------------------------------|-------------|--------------|-------------|------------|------|-----|-----|-----|
| | | | | | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | |
| 学校法人 山崎学園 光名幼稚園 | 西2条南10丁目1番地 | 01654-2-4741 | 園長 山崎 博俊 | S33. 6. 10 | 27 | 23 | 22 | 72 |
| 学校法人 北海道キリスト教学園 認定こども園名寄幼稚園 | 東1条南2丁目1番地 | 01654-3-0280 | 園長 日向 恭司 | S25. 9. 1 | 27 | 22 | 26 | 75 |
| 学校法人 名寄大谷学園 名寄大谷認定こども園 | 西5条南2丁目10番地 | 01654-2-2668 | 園長 越智 恭代 | S33. 5. 6 | 17 | 13 | 13 | 43 |
| 学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園 | 西3条南4丁目17番地 | 01654-2-2632 | 園長 柴田 沙知 | S25. 9. 13 | 21 | 27 | 25 | 73 |
| 学校法人 風連学園 認定こども園風連幼稚園 | 風連町西町284番地 | 01655-3-2133 | 園長 加藤 紀子 | S29. 5. 10 | 6 | 12 | 7 | 25 |

2 子ども・子育て支援運営事業

- ・施設型給付費負担（認定こども園・幼稚園が保護者の代理で給付を受け、サービスを提供）

4 学校給食センター

令和4年度の給食実施計画

◎給食提供

センター稼働日

※各教員・職員分含む1日当りの概数、変動あり

| | | |
|-----|--------------|------|
| 1学期 | 4月7日～7月22日 | 72日 |
| 2学期 | 8月18日～12月23日 | 86日 |
| 3学期 | 1月17日～3月24日 | 47日 |
| 合 計 | | 205日 |

| | |
|---------|--------|
| 小学校分 | 1,309名 |
| 中学校分 | 672名 |
| 智恵文保育所分 | 10名 |
| 給食センター | 33名 |

◎給食費

※令和2年4月改定

【1食単価】

| | | |
|-----|------------|------|
| 小学校 | 低学年(1・2年生) | 259円 |
| | 中学年(3・4年生) | 261円 |
| | 高学年(5・6年生) | 263円 |
| 中学校 | 区分なし | 308円 |

◎給食内容

- ・年間献立計画に基づき、米飯と魚を基本とした和食型の献立を栄養教諭が立案。
- ・地場産品の活用を意識し、安全を図りながら栄養バランスに配慮。
- ・名寄の独自のメニュー(鮭の味噌マヨネーズ焼き、鮭の香味揚げ、ひじきのごまネーズ和え、じゃがいものチーズ煮など)や新たな献立を研究。
- ・国や地域の伝統文化を継承する献立の提供。(卒業入学祝い、ひな祭り、七夕、冬至など)

| | |
|-----|------------------|
| 米 飯 | 週 3.5 回 (2週間中7回) |
| パ ン | 週 0.5 回 (2週間中1回) |
| 麵 類 | 週 1 回 |

年間献立計画による名寄産収穫食材の使用予定(一部)

| | | | | |
|----|--|-----|--------------|------------|
| 4月 | もち米 | 9月 | 長ねぎ、玉ねぎ、キャベツ | ミニトマト、ピーマン |
| 5月 | アスパラ | 10月 | 長ねぎ、玉ねぎ | 白菜、ピーマン |
| 6月 | | 11月 | | キャベツ |
| 7月 | きゅうり、レタス | 12月 | じゃがいも | |
| 8月 | メロン、ミニトマト、長ねぎ キャベツ、ピーマン、きゅうり レタス | 1月 | 玉ねぎ、じゃがいも | 寒締めほうれん草 |
| | | 2月 | 玉ねぎ | |
| | | 3月 | 玉ねぎ、もち米 | |

◎学校給食センターの取組み

① アレルギー給食

食物アレルギーを有する児童生徒も給食を楽しめるよう「学校における食物アレルギー対応の進め方」(平成26年11月北海道教育委員会)を踏まえ、名寄市教育委員会の食物アレルギー対応

の指針に基づき、学校給食センターの施設設備の能力や物理的な許容範囲と児童生徒の実態等を総合的に判断し、安全性を最優先としたアレルギー食材除去の代替え献立を提供しています。

(1)令和4年度(5月1日現在)アレルギー給食対応数

・小学校 4校 21名 ・中学校 2校 15名 合計 36名

(2)対応アレルギー

鶏卵、牛乳、大豆、小麦、そば、ナッツ類、魚類、魚卵、甲殻類・軟体類、
貝類、肉類、果物など

※傾向としてアレルギーが複合しているケースが多い

② 地場産品の活用

主食の米は風連地区の2生産組合と契約購入。パン用小麦粉も名産産を使用。

生産量日本一を誇るもち米での赤飯や餅を行事食献立などで使用。旬の地元収穫野菜を積極的に活用。旬の野菜以外の地場産では、通年栽培もやしや加工品の豆腐、油揚げ、練製品、乾燥しいたけ、冷凍かぼちゃ、スイートコーン、ひまわり油、麺類など。

◎施設概要

- ・所在地 名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・開設年月 平成3年12月
- ・改修工事 平成18年12月(風連町との合併に伴う)
- ・敷地面積 3,257.75 m²
- ・建物面積 997.1643 m²
- ・構造 鉄筋コンクリート一部2階建

◎職員構成

| 職員 | | 道派遣 | 会計年度任用職員 | | | | |
|----|------|------|----------|-----|-----|-----|-----|
| 所長 | 総務係長 | 栄養教諭 | 事務補助員 | 栄養士 | 調理師 | 業務員 | 調理員 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 7 | 19 |

◎会議等

① 名寄市学校給食センター運営委員会

設置条例第5条に基づき設置、教育委員会の諮問事項に応じ審議。

委員は15名以内で教育委員会が委嘱。会議は委員長召集。

② 名寄市学校給食会

学校給食費会計で行う学校給食事業の運営を図る。事務局は学校給食センター。

市内小中学校の校長、PTA会長、給食業務担当教諭で組織。

会議には総会、理事会、専門部会(会長委嘱)がある。

※専門部会…献立検討委員会、学校給食業務担当者会議など

5 名寄市立大学

1 名寄市立大学の理念、目的、教育目標、教育の組織・内容・方法

(1) 大学の理念

名寄市立大学は、ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

(2) 大学の目的

◎名寄市立大学は、高度な知識と技術および高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支える専門職を育成する。

◎名寄市立大学は、地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来をひらく。

(3) 教育の目標

◎ 多様でかけがえのない存在である「ひと」への理解を深めるとともに、自らの人間性と能力を高める力を育む。

◎ 専門領域の知識や技術を高めるとともに、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を育む。

◎ 関連する諸領域を幅広く理解し、支援サービスの連携・協働においてパートナーシップを発揮できる力を育む。

◎ 幅広い理解力・判断力を養う教養や社会問題への関心を持ち続ける心を育む。

◎ 地域社会はもとより、人類が抱える諸問題と異文化にも関心を持ち、広く世界の中で自己の存在を位置づけ行動する意欲を育む。

(4) 教育の組織・内容・方法

◎ 教養教育と連携教育を基礎に、栄養・看護・社会福祉などの専門領域の特殊性にも配慮した体系的なカリキュラムに基づいた授業

◎ 学生個々人の学習意欲を涵養する少人数教育

◎ 実践力を養成するための質の高い臨地実習および現場実習

◎ 地域社会の教育的活用と地域貢献

◎ 教職員の FD および SD による教育の質の向上と研究の推進

2 名寄市立大学の現況

(1) 学生の在籍状況 (単位：人)

(令和4年5月1日現在)

| 学科等 学年 | 保健福祉学部 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|-----|-----|------|-----|-----|--------|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 栄養学科 | | | 看護学科 | | | 社会福祉学科 | | | 社会保育学科 | | | 合計 | | |
| | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 計 |
| 1年 | 7 | 33 | 40 | 0 | 52 | 52 | 9 | 41 | 50 | 6 | 39 | 45 | 22 | 165 | 187 |
| 2年 | 5 | 37 | 42 | 6 | 46 | 52 | 16 | 36 | 52 | 5 | 50 | 55 | 32 | 169 | 201 |
| 3年 | 4 | 37 | 41 | 5 | 49 | 54 | 18 | 35 | 53 | 5 | 46 | 51 | 32 | 167 | 199 |
| 4年 | 2 | 38 | 40 | 6 | 42 | 48 | 15 | 33 | 48 | 7 | 45 | 52 | 30 | 158 | 188 |
| 計 | 18 | 145 | 163 | 17 | 189 | 206 | 58 | 145 | 203 | 23 | 180 | 203 | 116 | 659 | 775 |

(2) 教員組織 (単位：人)

(令和4年5月1日現在)

| 保健福祉学部 | 学科名 | 学長 | 副学長 | 専任教員数 | | | | | 助手 | 専任教員1人当たりの学生数 |
|--------|--------|----|-----|-------|-----|----|----|----|----|---------------|
| | | | | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | | |
| | 栄養学科 | 1 | 1 | 5 | 2 | 5 | 4 | 16 | 1 | 10.2人 |
| | 看護学科 | | | 8 | 0 | 8 | 5 | 21 | 2 | 9.8人 |
| | 社会福祉学科 | | | 5 | 6 | 3 | 2 | 16 | 0 | 12.7人 |
| | 社会保育学科 | | | 4 | 6 | 6 | 0 | 16 | 0 | 12.7人 |
| | 教養教育部 | | | 4 | 4 | 0 | 0 | 8 | 0 | — |
| | 合計 | 1 | 1 | 26 | 18 | 22 | 11 | 77 | 3 | 10.1人 |

(3) 事務組織 (単位：人)

(令和4年5月1日現在)

| 事務局長 | 課 | 課長 | 係長 | 係 | 事務補助 | 図書業務 | 就職支援 | 健康サポート | 計 |
|------|------------------|----|----|----|------|------|------|--------|----|
| 1 | 総務課 | 2 | - | 3 | 4 | - | - | - | |
| | コミュニティケア教育研究センター | 1 | - | - | 1 | - | - | - | |
| | 図書館 | 1 | - | - | - | 8 | - | - | |
| | 教務課 | 2 | 2 | 6 | 4 | - | - | - | |
| | 学生課 | 1 | 1 | 1 | - | - | 2 | 4 | |
| 1 | | 7 | 3 | 10 | 9 | 8 | 2 | 4 | 43 |

(4) 令和4年度入試結果 (単位:人)

(令和4年5月1日現在)

| | 入試区分 | 栄養学科 (入学定員 40人) | | | | | 看護学科 (入学定員 50人) | | | | | |
|--------|------|-------------------|------|--------|--------|--------|-------------------|------|--------|--------|--------|-----|
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | |
| 保健福祉学部 | 推薦 | 16 | 34 | 34 | 16 | 2.1 | 20 | 47 | 47 | 21 | 2.2 | |
| | 社会人 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | — | 若干名 | 1 | 1 | 1 | 1.0 | |
| | 一般前期 | 20 | 48 | 42 | 27 | 1.6 | 25 | 79 | 76 | 31 | 2.5 | |
| | 一般後期 | 4 | 39 | 8 | 6 | 1.3 | 5 | 72 | 18 | 9 | 2.0 | |
| | 入試区分 | 社会福祉学科 (入学定員 50人) | | | | | 社会保育学科 (入学定員 50人) | | | | | |
| | | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | |
| | | 推薦 | 20 | 19 | 19 | 19 | 1.0 | 20 | 28 | 28 | 20 | 1.4 |
| | | 社会人 | 若干名 | 2 | 2 | 0 | — | 若干名 | 0 | 0 | 0 | — |
| | | 一般前期 | 25 | 44 | 43 | 32 | 1.3 | 25 | 28 | 27 | 25 | 1.1 |
| | | 一般後期 | 5 | 73 | 18 | 9 | 2.0 | 5 | 37 | 10 | 10 | 1.0 |

(5) 令和3年度卒業者の就職進学等状況 (単位:人)

(令和4年5月1日現在)

| | | 卒業者数 | 就職決定者数 | | 就職率 | 進学者数 | その他 | 備考 |
|--------|-------------------|--------------|--------|----|-------|------|-----|----|
| 保健福祉学部 | 栄養学科 (就職希望者) | 40 (40) | 市内 | 1 | 100% | 0 | 0 | |
| | | | 道内 | 25 | | | | |
| | | | 道外 | 14 | | | | |
| | | | 小計 | 40 | | | | |
| | 看護学科 (就職希望者) | 45 (43) | 市内 | 7 | 100% | 2 | 0 | |
| | | | 道内 | 29 | | | | |
| | | | 道外 | 7 | | | | |
| | | | 小計 | 43 | | | | |
| | 社会福祉学科 (就職希望者) | 53 (49) | 市内 | 2 | 98.0% | 1 | 4 | |
| | | | 道内 | 22 | | | | |
| | | | 道外 | 24 | | | | |
| | | | 小計 | 48 | | | | |
| | 社会保育学科 (就職希望者) | 47 (47) | 市内 | 2 | 97.9% | 0 | 1 | |
| | | | 道内 | 34 | | | | |
| | | | 道外 | 10 | | | | |
| | | | 小計 | 46 | | | | |
| 合計 | | 185 (179) | | | | 3 | 5 | |

(6) 令和3年度卒業者の国家資格取得状況(単位:人)

| 学科名 | 国家資格 | 受験者数 (人) | 合格者数 (人) | 合格率(%) | 全国新卒 合格率(%) |
|--------|---------|-------------|-------------|--------|----------------|
| 栄養学科 | 管理栄養士 | 39 | 38 | 97.4% | 92.9% |
| 看護学科 | 看護師 | 45 | 45 | 100.0% | 96.5% |
| | 保健師 | 15 | 15 | 100.0% | 93.0% |
| 社会福祉学科 | 社会福祉士 | 51 | 34 | 66.7% | 52.4% |
| | 精神保健福祉士 | 19 | 18 | 90.0% | 73.3% |

(7) 令和3年度卒業者の教員免許取得状況(単位:人)

| | | | |
|--------|------------|-------------|----|
| 保健福祉学部 | 中学校教諭I種 | 社会 | 4 |
| | 高等学校教諭I種 | 公民 | 7 |
| | | 福祉 | 6 |
| | 特別支援学校教諭I種 | 知的・肢体不自由・病弱 | 37 |
| | 栄養教諭I種 | | 9 |
| | 幼稚園教諭I種 | | 47 |

3 図書館の概要

(1) 施設の概要

| 区分 | 面積 | 閲覧席数 | 収納可能冊数 |
|-------|-----------|------|-----------|
| 図書館3階 | 1,074.58㎡ | 200席 | 約140,000冊 |
| 図書館2階 | 1,440.56㎡ | | |
| 図書館1階 | 1,940.31㎡ | | |

※面積には、大講義室、コミュニティケア教育研究センター等を含む。

(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

○蔵書数(単位:冊)

| 年度 | 総和書数 | 総洋書数 | 総蔵書数 |
|------|--------|-------|---------|
| 2020 | 95,248 | 5,635 | 100,883 |
| 2021 | 98,137 | 5,807 | 103,944 |

○逐次刊行物(単位:冊)

| 年度 | 和雑誌 | | | | | | 洋雑誌 | | | | | |
|------|-----|----|------|------|----|-----|-----|----|------|------|----|----|
| | 栄養 | 看護 | 社会福祉 | 社会保育 | 共通 | 総数 | 栄養 | 看護 | 社会福祉 | 社会保育 | 共通 | 総数 |
| 2019 | 9 | 48 | 50 | 23 | 25 | 155 | 15 | 7 | 2 | 0 | 0 | 24 |
| 2020 | 10 | 39 | 50 | 23 | 25 | 147 | 15 | 6 | 2 | 0 | 0 | 23 |
| 2021 | 10 | 39 | 44 | 23 | 25 | 141 | 15 | 6 | 2 | 0 | 0 | 23 |

○視聴覚資料数

| 年度 | CD | DVD | ビデオ | 紙芝居 | 総数 |
|------|-----|-----|-----|-----|-------|
| 2019 | 134 | 830 | 0 | 61 | 1,053 |
| 2020 | 136 | 937 | 0 | 62 | 1,135 |
| 2021 | 136 | 974 | 0 | 89 | 1,199 |

○電子ジャーナル・データベース利用（令和4年3月31日現在）（単位：ダウンロード数）

| メディカル オンライン | CiNii | | 医中誌 | | 聞蔵Ⅱ | EBSCO | | 最新看護索引 Web | |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|-----|---------------|-----|
| | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | 検索数 | | Academic Search | | | |
| | | | | | | アクセス数 | 検索数 | | |
| DL数 | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | 検索数 |
| 600 | 1,256 | 4,284 | 1,806 | 8,314 | 98 | 220 | 876 | 210 | 216 |

○図書受入（令和4年3月31日現在）（単位：冊）

| 種類 | 図書 | 雑誌 |
|-------|---------------|-----------|
| 冊数・誌数 | 1,967 (1,680) | 164 (182) |
| 全国平均 | 1,740 | 123 |

※全国平均は、令和3年度学術情報基盤実態調査「単科公立大学」(括弧内は前年度のデータ)

(3) 図書館利用状況

○図書貸出状況（令和4年3月31日現在）

| | 貸出冊数 | | 貸出人数 | |
|-----|----------|--------|----------|--------|
| | 冊 | 冊/日 | 人 | 人/日 |
| 総計 | 28,039 | 97.0 | 12,279 | 42.5 |
| | (24,077) | (81.9) | (10,144) | (34.5) |
| 学生 | 24,333 | 84.2 | 10,731 | 37.1 |
| | (20,238) | (68.8) | (8,400) | (28.6) |
| 教職員 | 2,991 | 10.3 | 1,115 | 3.9 |
| | (2,588) | (8.8) | (1,336) | (4.5) |
| 学外者 | 715 | 2.5 | 433 | 1.5 |
| | (621) | (2.1) | (406) | (1.4) |
| 団体等 | 41 | 0.1 | 3 | 0.0 |
| | (630) | (2.1) | (2) | (0.0) |

※括弧内は前年度のデータ（開館日数 289 日）

○学科別貸出状況（令和4年3月31日現在）

| | 貸出冊数 | | 貸出人数 | |
|----------|---------|--------|---------|-------|
| | 冊 | 冊/日 | 人 | 人/日 |
| 栄養 | 5,220 | 18.1 | 3,545 | 12.3 |
| | (4,797) | (16.3) | (1,902) | (6.5) |
| 看護 | 7,166 | 24.8 | 4,212 | 14.5 |
| | (6,193) | (21.1) | (2,531) | (8.6) |
| 社会 福祉 | 5,947 | 20.6 | 4,062 | 14.1 |
| | (5,262) | (17.9) | (2,196) | (7.5) |
| 社会 保育 | 5,976 | 20.7 | 4,149 | 14.4 |
| | (5,441) | (18.5) | (2,179) | (7.4) |

※括弧内は昨年度のデータ

4 施設の概要

| 施設 | 概要 | | 面積 |
|------|--------------------------|----------------|---------|
| 校地等 | 校舎敷地 | | 42,440㎡ |
| | 運動場（グラウンド） | | 29,633㎡ |
| | 計 | | 72,073㎡ |
| 校舎 | 1号館（管理、情報処理・栄養実習室） | RC造 3階建（一部2階建） | 3,712㎡ |
| | 2号館（社会福祉学科・栄養学科） | RC造 3階建 | 6,932㎡ |
| | 3号館（看護学科・社会保育学科） | RC造 3階建（一部2階建） | 8,652㎡ |
| | 図書館（コミュニティケア教育研究センター） | RC造 3階建 | 4,455㎡ |
| | 5号館（看護学科・社会保育学科・学生食堂・売店） | RC造 3階建 | 2,512㎡ |
| 体育館等 | ①体育館（3号館）②多目的ホール（2号館） | 鉄骨造 平屋建 | 2,229㎡ |
| 学生会館 | サークル室・ミーティングルーム・同窓会室等 | RC造 2階建 | 511㎡ |

6 就学の助成

1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 令和4年度就学援助費の内訳（ただし、※は令和3年度実績の平均支給額）

| 区 分 | | 小 学 校 | 中 学 校 | 支 給 内 容 |
|------------------|------|-------------|-------------|---|
| 新入学児童生徒 学用品費等 | 1年 | 円 54,060 | 円 60,000 | 小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品 |
| 学用品費 | 1～6年 | 11,630 | — | 各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品 |
| | 1～3年 | — | 22,730 | |
| 通学用品費 | 2～6年 | 2,270 | — | 通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費 |
| | 2～3年 | — | 2,270 | |
| 体育実技用具費 | スキー | ※ 29,700 | ※ 31,689 | 体育授業の参加に必要な体育実技用具 |
| | 柔道着 | — | 4,840 | |
| 宿泊校外活動費 | | ※ 0 | ※ 3,716 | 学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科などの経費 |
| 修学旅行費 | | ※ 23,879 | ※ 56,127 | 修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費 |
| 学校給食費 | 1～6年 | ※ 37,382 | — | 学校給食に要する食費の金額 |
| | 1～3年 | — | ※ 44,199 | |
| 医 療 費 | | ※ 9,940 | ※ 4,626 | 伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白癬、疥癬及び濃痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫病をいう。） |
| ク ラ ブ 活 動 費 | | — | 15,075 | 部活動加入者に対し、部活動の実施に必要な用具に係る経費（部活動支援費・後援会費などは除く） |
| 生 徒 会 費 | | — | (上限) 5,550 | 生徒会費として一律に負担すべきこととなる経費 |
| P T A 会 費 | | (上限) 3,450 | (上限) 4,260 | P T A活動に要する費用として一律に負担すべきこととなる経費 |
| 卒 業 ア ル バ ム 代 等 | | (上限) 11,000 | (上限) 8,000 | 通常制作する卒業アルバム及び卒業記念写真またはそれらの購入費 |

(2) 令和元・2・3年度就学援助の状況

(単位：千円)

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|------|--------|--------|--------|
| 小学校 | 実施人員 | 183 | 162 | 161 |
| | 決算額 | 14,288 | 13,593 | 11,908 |
| 中学校 | 実施人員 | 110 | 115 | 105 |
| | 決算額 | 14,654 | 15,256 | 14,048 |
| 計 | 実施人員 | 293 | 277 | 266 |
| | 決算額 | 28,942 | 28,849 | 25,956 |

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 令和4年度就学奨励費の内訳（ただし、※は令和3年度実績の平均支給額）

| 区 分 | | 小 学 校 | 中 学 校 |
|------------------|--------|-------------|-------------|
| 新入学児童生徒 学用品費等 | 1年 | 円 25,555 | 円 28,990 |
| 学用品費等購入費 | 2～6年 | 5,820 | — |
| | 2～3年 | — | 11,370 |
| 体育実技用具費 | スキー | (上限) 13,255 | (上限) 19,015 |
| | 柔道 | — | (上限) 3,825 |
| 宿泊校外活動費 | | ※ 0 | ※ 2,068 |
| 修学旅行費 | | ※ 12,408 | ※ 28,114 |
| 学校給食費 | 1～6年 | ※ 23,325 | — |
| | 1～3年 | — | ※ 26,775 |
| 通学費 | 通級指導教室 | ※ 4,306 | — |
| | 特別支援学級 | ※ 3,546 | ※ 5,490 |

(2) 特別支援教育就学奨励費の状況

(単位：千円)

| 区 分 | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----|------|-------|-------|-------|
| 小学校 | 実施人員 | 46 | 54 | 57 |
| | 決算額 | 1,491 | 1,978 | 2,112 |
| 中学校 | 実施人員 | 19 | 19 | 15 |
| | 決算額 | 971 | 1,104 | 783 |
| 計 | 実施人員 | 65 | 73 | 72 |
| | 決算額 | 2,462 | 3,082 | 2,895 |

3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

(1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること
- ④ 学資の支弁が困難であること

(2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者

(3) 申込期間 毎年10月末日まで

(4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給

※利子補給基準額：月額

| 区 分 | 補給基準額（月額） |
|-------------|-----------|
| 大 学 ・ 大 学 院 | 40,000 円 |
| 専 門 学 校 | 30,000 円 |
| 高 等 専 門 学 校 | 15,000 円 |
| 高 等 学 校 | 10,000 円 |

4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

7 各種助成制度（学校教育課所管）

1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

補助実績 (単位：千円)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|-------|-------|-------|
| 申請事業数 | 52件 | 15件 | 39件 |
| 補助金交付額 | 3,530 | 1,357 | 6,791 |
| うち小学生 | 1,672 | 429 | 535 |
| うち中学生 | 1,097 | 273 | 227 |
| うち高校生 | 761 | 655 | 6,029 |

2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。(令和元・2・3年度事業の実績)

(単位：千円)

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|-------|-------|-------|
| 申請事業数 | 1件 | 0件 | 1件 |
| 補助金交付額 | 30 | 0 | 50 |
| うち小学生 | 15 | 0 | 50 |
| うち中学生 | 0 | 0 | 0 |
| うち高校生 | 0 | 0 | 0 |
| うちその他 | 15 | 0 | 0 |

3 名寄市高校生資格取得支援事業補助金

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|----------------|----------------|----------------|
| 資格取得者数 | 162名 | 181名 | 166名 |
| 補助金交付額 | 329,775円 | 367,850円 | 355,150円 |
| うち名寄高校 | 121,625円(53人) | 122,250円(51人) | 139,600円(57人) |
| うち産業高校 | 208,150円(109人) | 245,600円(130人) | 215,550円(109人) |

4 名寄産業高等学校酪農科学科受検者交通費等助成金

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|----------|----------|-------|
| 入学者数 | 2名 | 2名 | 0名 |
| 補助金交付額 | 131,540円 | 114,219円 | 0円 |

○学科別貸出状況（令和4年3月31日現在）

| | 貸出冊数 | | 貸出人数 | |
|----------|---------|--------|---------|-------|
| | 冊 | 冊/日 | 人 | 人/日 |
| 栄養 | 5,220 | 18.1 | 3,545 | 12.3 |
| | (4,797) | (16.3) | (1,902) | (6.5) |
| 看護 | 7,166 | 24.8 | 4,212 | 14.5 |
| | (6,193) | (21.1) | (2,531) | (8.6) |
| 社会 福祉 | 5,947 | 20.6 | 4,062 | 14.1 |
| | (5,262) | (17.9) | (2,196) | (7.5) |
| 社会 保育 | 5,976 | 20.7 | 4,149 | 14.4 |
| | (5,441) | (18.5) | (2,179) | (7.4) |

※括弧内は昨年度のデータ

4 施設の概要

| 施設 | 概要 | | 面積 |
|------|--------------------------|----------------|---------|
| 校地等 | 校舎敷地 | | 42,440㎡ |
| | 運動場（グラウンド） | | 29,633㎡ |
| | 計 | | 72,073㎡ |
| 校舎 | 1号館（管理、情報処理・栄養実習室） | RC造 3階建（一部2階建） | 3,712㎡ |
| | 2号館（社会福祉学科・栄養学科） | RC造 3階建 | 6,932㎡ |
| | 3号館（看護学科・社会保育学科） | RC造 3階建（一部2階建） | 8,652㎡ |
| | 図書館（コミュニティケア教育研究センター） | RC造 3階建 | 4,455㎡ |
| | 5号館（看護学科・社会保育学科・学生食堂・売店） | RC造 3階建 | 2,512㎡ |
| 体育館等 | ①体育館（3号館）②多目的ホール（2号館） | 鉄骨造 平屋建 | 2,229㎡ |
| 学生会館 | サークル室・ミーティングルーム・同窓会室等 | RC造 2階建 | 511㎡ |

8 名寄市教育研究所

1 研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

2 研究主題設定の理由

今日、学校教育においては、保護者や地域住民の期待に応えるため、子ども一人一人に「生きる力」を確実に育むことが求められている。このため各学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態、児童生徒の発達段階や特性等を考慮して、適切な教育課程を編成、実施することが大切である。

このような課題を受け止め、名寄市教育研究所においては、上川管内教育研究会と連携し、小・中学校における教育の内容、方法、制度等に関する調査研究などに取り組み、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、よりよく問題を解決する資質・能力や他人を思いやる豊かな心、たくましく生きるための健やかな体などの育成に努めている。

そこで、今後も、これまでの研究の流れを継続し、各部・各班・名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組を一層充実させることにより、知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育成することが重要と考え、本研究主題を設定した。

3 運営の基本方針

「名寄市教育研究所条例」に基づき、各種の提言、事業、研究活動等を推進する。また、北海道教育研究所連盟（道研連）や上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）と連携を図りながら事業を推進する。

- (1) 研究主題の解明にあたっては、具体的かつ実践的な研究活動の推進に努める。
- (2) 上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- (3) 授業公開による研究交流や日常実践の交流、外部講師・施設の活用等を図り、班研修の活性化と研修内容の充実に努める。
- (4) 名寄市教育改善プロジェクト委員会の成果と課題を踏まえ、各種事業等の推進に努める。

4 事業推進の基本方針

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行については、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化が図られるよう努める。
- (2) 名寄市教育研究大会については、公開授業、研究協議等を通して、具体的かつ実践的な研究活動を推進する。研究委託校（名寄西小学校・名寄中学校）は、「学校力向上に関する総合実践事業」等の取組を踏まえ、研究の成果を公開する。
- (3) 名寄市教育研究集会については、名寄市教育改善プロジェクト委員会や調査研究部・研究班の発表、講演等を通して、研究の成果と課題についての共通理解を深める。
- (4) 研究班の一斉研修や上川管内教育研究会北部地区研究大会については、上川管内地区研究大会研究推進の手引等を活用し、研修活動の充実に努める。
- (5) 名寄市小中学校音楽発表会や各種児童生徒作品展等については、音楽科や図画工作科等の学習の成果の交流に努める。
- (6) その他、必要に応じて専門委員会を設置し、調査報告、提言等を行う。

5 各部・教育改善プロジェクト委員会の事業

(1) 総務部

- ① 各部と連携を図った各種事業の企画・運営
- ② 道研連、上教研など、関係団体との連携協力
- ③ 年3回（6月、12月、3月）の所報の発行
- ④ 効果的で適正な会計業務の推進

(2) 教育研究部

- ① 研究班活動の推進
 - ・年3回（4月、6月、8月）の開催
 - ・若手教員のニーズに応じた人材育成に資する研修活動の推進
 - ・名寄市教育改善プロジェクト委員会と連携した活動の推進
- ② 名寄市小中学校音楽発表会の開催
 - ・期日 令和4年9月29日（木）
 - ・会場 名寄市民文化センター EN-RAYホール
- ③ 名寄市教育研究大会の開催
 - ・期日 令和4年11月11日（金）
 - ・会場 名寄西小学校・名寄中学校
- ④ 名寄市教育研究集会の開催
 - ・期日 令和5年1月24日（火）
 - ・会場 名寄市民文化センター EN-RAYホール
- ⑤ 各種児童生徒作品展等の開催・協力
 - ・市民文化祭小中学校児童生徒作品展

(3) 第3次名寄市教育改善プロジェクト委員会

- ① 推進のテーマ
児童生徒に「生きる力」を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造
～全小・中学校が一体となった学校力向上の取組を通して～
- ② 推進の重点
 - 学校力向上を図る小中連携の推進
 - 直面する課題解決に向けた取組の推進

③ 研究グループ及び研究内容

■ **教育経営の充実に関する研究グループ**

令和4年度の重点「学校における働き方改革の推進」

□実感をともなった働き方改革の推進

- 1 学校規模に応じた働き方改革推進のコアチームを中核とした改善プロセスの推進
- 2 働き方改革推進モデル校を核とした検証改善サイクルの確立及び成果の波及
- 3 名寄市立小中学校働き方改革推進会議と連携した、学校における働き方改革の推進

※働き方改革の視点

- (1)教職員の意識改革
- (2)課題意識を踏まえた目標設定
- (3)効果の明確化と定期的な検証
- (4)その他の実態を踏まえた特色ある取組
- (5)名寄スタイルに基づく部活動改革推進

■ **教育研究(研修)の充実に関する研究グループ**

令和4年度の重点「次代を担う人材の育成」

□スクールリーダー研修会を活用した組織的・計画的な人材の育成

- 1 スクールリーダー等の育成を図る組織マネジメントや研修等の充実
- 2 日常実践の質の向上に資する戦略的な取組の充実
- 3 人材育成に資する視察研修の実施と成果の発信

■ **教育指導の充実に関する研究グループ**

令和4年度の重点「ICTの効果的な活用」

□教育の質の向上を図る ICT の効果的な活用

- 1 ICT を日常的に活用した教育活動の工夫・改善
- 2 個別最適な学びと協働的な学びの実現に資する1人1台端末を活用した指導方法や教材等の工夫・改善（含プログラミング教育の充実）
- 3 教職員のニーズに応じた、ICT活用研修等の計画的な実施
- 4 名寄市学校教育情報化推進委員会と連携した、ICT環境の整備・活用等

④ 名寄市教育研究所と連携した、教育課題の解決に資する研修の充実

- ・体力テスト等の結果・分析を踏まえた実技研修会等の充実（体育班）
- ・小学校・中学校の理科における円滑な接続に資する指導方法・教材等の工夫・改善（理科班）
- ・若手教員のニーズに応じたメンター研修

9 その他学校一覧

(令和4年5月1日現在)

| | | 学 校 名 | 校長名 | 課 程 | 学級数 | 生徒数 | 所在地 | 電 話 (F A X) |
|------------------|-----|-----------------------|------|--------------|-----|-----|---------|---------------------|
| 高 等 学 校 | 道立 | 名寄高等学校 | 鈴木 究 | 普 通 科 | 9 | 278 | 徳田204-1 | (事務室TEL・FAX) 3-6841 |
| | | | | 計 | 9 | 278 | | (職員室TEL) 3-6842 |
| | 道立 | 名寄産業高等学校 (光凌キャンパス) | 坂野裕悦 | 機 械・建 築システム科 | 3 | 48 | 西5北5 | (事務室TEL・FAX) 2-3066 |
| | | | | 生 活 文 化 科 | 3 | 51 | | (職員室TEL) 2-3067 |
| | | 名寄産業高等学校 (名農キャンパス) | | 酪 農 科 学 科 | 3 | 18 | 緑丘3-3 | (TEL) 2-4191 |
| | | | | 計(産業) | 9 | 117 | | (FAX) 2-4192 |
| | 合 計 | | | | | 18 | 395 | |

Ⅲ 社 会 教 育

| | | | |
|----|----------------------------|-------|----|
| 1 | 令和4年度名寄市社会教育推進計画 | ----- | 40 |
| 2 | 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 | --- | 46 |
| 3 | 風連生涯学習担当・ 名寄市風連公民館の事業計画 | ----- | 51 |
| 4 | 名寄市智恵文公民館の事業計画 | ----- | 54 |
| 5 | 名寄市児童センター | ----- | 56 |
| 6 | 名寄市青少年センター | ----- | 60 |
| 7 | 名寄市教育相談センター | ----- | 61 |
| 8 | 名寄市北国博物館 | ----- | 62 |
| 9 | 市立名寄図書館 | ----- | 67 |
| 10 | なよろ市立天文台 | ----- | 69 |
| 11 | 学校体育施設開放事業利用状況 | ----- | 71 |

令和4年度名寄市社会教育推進計画

1 生涯学習社会の形成

市民が生涯にわたって主体的に学び、心豊かな人生を送ることができるよう、社会教育拠点施設整備や指導者の育成、学習活動の推進など、生涯学習環境の充実に努めます。

【社会教育計画の策定】

生涯学習推進の基本となる社会教育推進計画については、名寄市総合計画との整合性を図りながら策定し、定期的な計画の見直しや改善に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

○名寄市社会教育推進計画の策定

【社会教育拠点施設整備】

- (1) 市民がいつでもどこでも学習することができる生涯学習環境の改善・充実を図るため、社会教育施設・設備の維持管理及び計画的な整備に努めます。
- (2) 市立名寄図書館の改築については、市民の学び合いや憩いの場として集えるような機能の充実、誰もが安全快適に利用できる図書館をめざして検討を進めます。
- (3) 図書館サービスについては、市民が求める情報を的確に提供するレファレンスデータ(※)の整備や大学図書館・小中学校図書室との連携に努めます。
- (4) 市立名寄図書館と北国博物館が連携し、郷土の歴史や文化の伝承に資する資料の保存に努めます。
- (5) 北国博物館については、地域の歴史・文化を伝承する施設機能の向上と何度でも来館したくなるような魅力ある施設運営に努めます。
- (6) 風連歴史民俗資料館については、風連地区の歴史の伝承のため、資料の保存に努めます。

※用語解説

【レファレンスデータ】

情報・資料を求めている利用者に対し、必要とされる資料を提供する業務であり、その多くの事例を図書館システムで管理し検索しやすくしたファイル

【生涯学習活動の推進と学習への支援】

- (1) 市民への生涯学習機会の提供を推進するにあたり、社会教育施設間の連携や情報共有を図るとともに、施設間が相互協力できる体制づくりに努めます。
- (2) 市民の生涯学習に対する相談体制の充実のため生涯学習推進アドバイザーの配置を継続します。
- (3) すべての市民が生涯にわたって主体的に学習し、充実した人生を送ることができるよう、総合的な生涯学習推進体制の整備に努めます。
- (4) 「地域とともにある学校づくり」の充実が図られるよう、地域学校協働活動等人材バンクを活用し、地域学校協働活動の推進に努めます。
- (5) 公民館活動においては、人材の確保及び情報提供体制の充実を図るとともに、特色ある生涯学習活動を推進し、多様な学習機会の提供に努めます。
- (6) 市民の自主的な生涯学習活動の奨励及び支援を行うとともに、市民のニーズに応じた指導者の確保に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

- | | |
|-------------------|--------------|
| ○社会教育施設間の連携と情報の共有 | ○自主的学習活動支援事業 |
| ○生涯学習フェスティバル事業 | ○高齢者学級運営事業 |
| ○生涯学習推進アドバイザーの設置 | ○地域学校協働活動の推進 |
| ○公民館分館事業 | ○公民館市民講座 |

【天体観測を活かしたまちづくり事業】

- (1) 観望会や映像配信なども利用した天文イベントを通じ、市民に親しみある天文普及、プラネタリウムをはじめとした天文台施設を活かした活動に努めます。
- (2) 施設の特徴である映像・音響を利用した「星と音楽」の事業を実施するとともに、建物・設備の適切な保守整備に努めます。

- (3) 北海道大学や国立天文台・石垣島天文台との協力による研究観測、移動天文台車を利用した杉並区との交流、インターネットの利用による世界に向けた情報発信などに努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

○天文教育普及事業

○開かれた研究観測事業

2 家庭教育の推進

子どもたちの健全育成の基盤である家庭における教育力の向上を図り、家庭の孤立を防ぐため、幼稚園と連携した家庭教育学級の開設や講座の開催など、親子のコミュニケーションを深める機会の提供に努めます。また、子育てに配慮した環境づくりなどについて企業への啓発に努めます。

【家庭と地域の教育力の向上】

- (1) 親力(※)を向上させるための学習機会を提供したり、子育て中の家庭同士の交流を図ることができるような家庭教育支援事業の充実に努めます。
- (2) すべての保護者が家庭教育や子育てに関する学習・相談機会を得られるよう、情報提供や相談体制の整備に努めます。
- (3) 小中学校・幼稚園・認定こども園を単位とした家庭教育学習の充実に図るとともに、PTAや青少年育成関係団体など地域と連携し、親子ふれあい事業や社会体験の充実に努めます。
- (4) 地域全体で家庭や子どもを支え見守る環境をつくるため、地域の大人が積極的に子どもたちと関わることや、企業が参観日への保護者の参加促進に協力するなど、市民への啓発や家庭教育サポート企業の拡大に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

○家庭教育学級事業

○家庭教育支援事業

※用語解説

【親力】

子どもを育て、包み、伸ばす総合力

3 青少年の健全育成

未来を担う青少年が心身ともに健やかに成長し、社会の一員としての人間性や社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動や地域交流、ボランティア活動を推進するとともに、安全で健やかな成長に向けた体制づくりに努めます。

【青少年健全育成事業】

- (1) 未来をつくる青少年が心の豊かさ、創造性や社会性などを養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、より良い環境の整備に努めます。
- (2) ボランティアリーダー活動など高校生や青年のリーダーを育成するとともに、子ども会育成連合会やPTAとの連携を図り、指導者の育成に努めます。
- (3) 単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもが参加交流できる事業や自然を活かした体験活動を推進します。教育委員会と子ども会育成連合会との共催による事業「へっちゃらLAND」、「わくわく！体験交流会」、スポーツ大会を実施し、学校外での活動の推進に努めます。
- (4) 地域の状況に応じながら子どもたちに町内会での活動への参加を促すとともに、町内会と共催でスポーツ・文化・レクリエーション事業を実施するなど連携を密にし、子どもたちの参加機会の拡充に努めます。
- (5) 生活環境の異なる大都市の子ども達との体験交流や異文化交流などの相互交流を実施し、豊かな感性と新たな友達づくりや地域間交流の醸成に努めます。
- (6) 社会が多様化する中で、様々な悩みの受け皿が必要とされていることから、学校や家庭、関係機関との情報交換、情報収集、連携を強化し、教育相談体制の充実に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

- 子どもの体験・交流学习事業
- 青少年活動事業
- 青少年育成組織の活性化とPTAとの連携
- 子どもの安全安心を守る活動推進
- 教育相談体制の充実

【子育て支援の推進】

- (1) 児童館や放課後児童クラブ、放課後子ども教室など、安全で安心な場所での子育て支援の充実を図ります。
- (2) 児童センターの老朽化に伴い、施設の整備について検討します。

令和4年度の主な実施計画事業

- 放課後児童クラブの充実
- 放課後子ども教室の充実

4 地域文化の継承と創造

市民が感動や生きる喜びを感じ、創造力にあふれる豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者の育成、文化振興のための基盤整備を進めるとともに、拠点施設を中心とした鑑賞機会や参加機会の充実を図るなど、文化の創造と団体の育成に努めます。

【文化芸術振興事業】

- (1) 地域の文化芸術活動の担い手である団体・グループ等の活動に対する支援を行うとともに、文化団体等の育成に努めます。
- (2) 文化芸術活動の活性化を図るため、市民文化センターE N - R A Yホール及びふうれん地域交流センターを拠点として、近隣市町村との広域ネットワークを活用した文化芸術鑑賞機会の提供及び充実に努めます。
- (3) 市民文化センター及びふうれん地域交流センターが市民のコミュニティ醸成の場としてより親しまれる環境となるよう努めます。
- (4) 学校等と連携してアウトリーチ(※)の推進やワークショップ(※)を開催するなど、多くの市民が文化芸術に触れる機会の提供に努めます。

- (5) 文化に親しむ講座の開設や新しい文化芸術サークルの開設の奨励など、文化芸術活動の活性化や発表の場の一層の充実に努めます。
- (6) 優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞ツアーの一層の充実に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

- 市民と協働による文化芸術推進事業
- 市民文化祭事業
- 市民盆踊り大会

※用語解説

【アウトリーチ】

公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス

【ワークショップ】

美術、演劇、映画など様々な芸術の分野で、具体的な技術を学ぶ集まりやセミナー

【歴史や文化財の継承】

- (1) 地域に関わる歴史、自然、文化に関する資料や文献、文書の収集と整理保存を行い、収集した資料を活用した展示会や講座の開催などにより、地域を知る機会を提供し普及啓発に努めます。
- (2) 有形、無形の文化財や史跡、歴史的に価値の高いものの保存とともに、ブックレットなどによる啓発や指定文化財の保護活動、伝承活動の支援に努めます。

令和4年度の主な実施計画事業

- 地域の歴史、自然、文化に関する普及啓発
- 文化財の保護と伝承活動の支援

2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆社会教育計画の策定

◇社会教育推進計画

生涯学習推進の基本となる社会教育推進計画については、名寄市総合計画との整合性を図りながら策定し、定期的な計画の見直しや改善に努めます。

◆社会教育拠点施設整備

◇市民文化センターの利用促進

文化センター大ホールを中心とした施設の利用促進とともにソフト面の充実にも努め、市民の学習の成果の発表の場や交流が生まれる環境づくりに努めます。

【施設概要】

- 1 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)
- 2 開設年月日 昭和58年8月11日 (西館：平成27年5月9日開館)
- 3 主要施設

○東館 (既存棟)

| | | | |
|----------|----------------------|----------|----------------------|
| ・多目的ホール | 353.2 m ² | ・大会議室 A | 80.0 m ² |
| ・大会議室 B | 80.0 m ² | ・小会議室 | 32.0 m ² |
| ・会議室 | 48.0 m ² | ・市民工芸室 | 97.6 m ² |
| ・生活研修室 A | 30.0 m ² | ・生活研修室 B | 90.0 m ² |
| ・調理実習室 | 104.0 m ² | ・営農研修室 | 72.0 m ² |
| ・視聴覚研修室 | 108.0 m ² | ・展示ホール | 294.8 m ² |

○西館 (新築棟)

| | | | |
|---------------|-----------------------|---------------------------|-----------------------|
| ・大ホール(EN-RAY) | 896.15 m ² | 固定席 639 車椅子補助者席 8 計 647 席 | |
| ・音楽スタジオ 1 | 39.69 m ² | ・音楽スタジオ 2 | 116.53 m ² |
| ・楽屋 1 | 52.29 m ² | ・楽屋 2 | 18.99 m ² |
| ・楽屋 3 | 18.99 m ² | ・展示ギャラリー | 67.40 m ² |
| ・常設展示室 | 19.12 m ² | | |

4 利用案内

- ・開館時間 午前9時～午後10時
- ・休館日 毎月末日 (ただし、その日が土・日曜日又は休日に当たるときはその前日)
年末年始 (12月30日～1月5日)

◆生涯学習活動の推進と学習への支援

1 幅広い分野にわたる学習機会の提供・課題解決へ向けた学習活動の促進

(1) 情報提供と相談体制の整備

広報、新聞、ラジオ、インターネットなど、あらゆる媒体を活用し情報提供を行います。

生涯学習情報の提供と相談は随時受付をします。

地域にある教育資源を活用し、地域学校協働活動を支援します。

(2) 市民講座の開催

趣味・教養・文化・生活などに係る多種多様な講座や、地域づくりやまちづくりを意識した講座を開設し、市民のまなびを支えます。また、講座は講義だけでなく、施設見学や体験、軽スポーツ、グループワークなどを取り入れて開催します。

(3) ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるため、必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 高齢者学級「名寄ピヤシリ大学」の開設

60歳以上の市民を対象に、一般教養やまちづくりに関する講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動、自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

(1) 開設期間 4月～2月（毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設）

(2) 公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年3回開講します。

(3) 自由研究・文集の発行

①大学4年生による自由研究

②文集「風雪」の発行

(4) 指導者養成・交流活動

①上川管内高齢者学びのつどいへの参加

②小学生との交流授業の実施

3 学んだ成果を生かせる場の提供

(1) 地域学校協働活動や部活動支援など、学校支援に関する人材を登録する「地域学校協働活動等人材バンク」の登録と活用を推進します。

(2) 講座やサークル活動で学んだ成果を活かす「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、登録・活用の推進を図ります。（令和4年5月現在登録者数 37名）

(3) 生涯学習フェスティバルの開催

生涯学習を通じて身に付けた知識や技能が地域づくりへとつながっていく生涯学習型社会の形成を進めるため、体験・交流型の生涯学習フェスティバルを開催します。

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

(1) 学習活動の支援

自然体験学習用のキャンプ用品やレクリエーション用具を貸し出します。

6 諸会議・研修会

(1) 社会教育委員の会会議

年3回開催予定（5月・11月・3月）

(2) 名寄市文化芸術審議会

年1回開催予定

(3) 名寄市公民館運営審議会、名寄市民文化センター運営委員会

年2回開催予定（5月・11月）

(4) 名寄市民文化センター事業企画委員会

年2回開催予定

7 関係団体に対する負担金・補助金

| | |
|-----------------------------|-----------|
| (1) 上川管内社会教育委員連絡協議会負担金 | 30,000 円 |
| (2) 北海道社会教育委員連絡協議会負担金 | 54,000 円 |
| (3) 北海道公民館協会上川支部負担金 | 7,000 円 |
| (4) 北海道公民館協会負担金 | 52,000 円 |
| (5) 名寄市女性団体連絡協議会補助金 | 220,000 円 |
| (6) 名寄市PTA連合会補助金 | 300,000 円 |
| (7) 名寄東小学校コミュニティセンター運営事業補助金 | 500,000 円 |
| (8) 社会教育関係団体活動推進補助金 | 800,000 円 |
| (9) ジャックの豆事業助成金 | 80,000 円 |

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

名寄地区に2学級（幼稚園）を開設し、各学級で自主的に事業を企画、実施します。

交付金 100,000 円（50,000 円×2学級）

2 家庭教育支援講座の開設

子どもの基本的な生活習慣の定着を支援するため、幼児と親を対象とした講座を実施します。

III 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 野外体験学習事業「へっちゃLAND2022」

小学4年生から6年生の児童及び中学生を対象に、実行委員会を組織して実施します。

◇開催予定日 7月26日（火）～7月28日（木）（3日間）

◇内 容 キャンプ体験ほか

2 名寄市公民館主催事業

(1) 夏休み子ども写生会

浅江島公園を会場に、幼児から高校生までとその家族を対象に実施します。

(2) 冬休み子ども料理教室

小中学生を対象に実施します。講師には名寄市立大学の学生に協力を依頼します。

(3) 新春こども書き初め広場

幼児から高校生までとその家族を対象に実施します。

(4) 春休み子ども英語クラブ

英語に慣れ親しむことを目的に、小学生低学年を対象に実施します。

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

(1) リーダー育成事業「わくわく！体験交流会」

子どもたちが様々な体験をとおして、自主性や社会性を身に付けるとともに、協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施。（年7回開催予定）

①キャンプ体験（なよろ健康の森）

- ②カヌー体験・集団宿泊研修等（ネイパル深川）
 - ③カルタ体験等（名寄市民文化センター）
 - ④上川管内子ども会交流（比布町）
 - ⑤料理体験（名寄市民文化センター）
 - ⑥ワカサギ釣り体験（幌加内町朱鞠内湖）
 - ⑦修了式（名寄市民文化センター）
- (2) 名寄市子ども会「フットサル大会」
11月23日（祝・水） 名寄市スポーツセンター

4 二十歳を祝う会運営事業

実行委員会を組織して、式典等を開催します。

◇開催予定日 令和5年1月8日（日）

◇場所 名寄市民文化センター 大ホール EN-RAY

5 指導者育成事業

- (1) 育成指導者研修会

名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。

- (2) 育成指導者交流会

名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

6 北海道教育委員会等主催事業

- (1) 青少年体験活動推進事業

北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。

- (2) 「少年の主張」上川地区大会

全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者1名を輩出します。

※ 今年度は感染症対策のためDVD審査となりました。

7 青少年育成団体に対する負担金・補助金

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) 名寄市子ども会育成連合会補助金 | 780,000円 |
| (2) へっちゃらLAND実行委員会補助金 | 400,000円 |
| (3) 名寄市二十歳を祝う会実行委員会負担金 | 550,000円 |

IV 地域文化の継承と創造

◆文化芸術振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

- (1) 第65回市民文化祭の開催

市民が取り組む各種文化活動について全市的な規模で発表する場及び鑑賞する場を設けることで、文化活動への参加意欲を高めるとともに、地域文化の発展及び伝承に資することを目的に開催します。

◇芸能発表 11月5日（土）～6日（日） 市民文化センターEN-RAY ホール

◇作品展示 11月5日（土）～6日（日） 市民文化センター

(2) 文化芸術鑑賞バスツアーの実施

優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞バスツアーを実施します。

- ・第1回 日程：7/13（水） 目的地：旭川美術館「旭川の美術100年」 定員22名
※定員を少なくし、バス内での座席間隔を確保して開催の予定。

(3) であいの広場等での作品展示（名寄市公民館主催・共催事業）

各種サークル等と連携し、市民文化センターの展示スペースを活用した作品展示を行い、地域住民の文化芸術活動を支援します。また、各社会教育施設等と連携し、巡回展を実施します。

(4) なよろ舞台芸術劇場の開催

名寄市教育委員会、名寄市公民館及びなよろ舞台芸術劇場が主催及び共催して、各種事業を展開します。

- ① 4月24日（日） 名寄市少年少女オーケストラ第5回定期演奏会
- ② 5月7日（土） きかんしゃトーマスファミリーミュージカル（2回公演）
- ③ 6月4日（土）・5日（日） SWANK企画第12回公演「クラッシュ・ワルツ」
- ④ 6月19日（日） 三井住友海上文化財団ときめくひととき第936回
三浦一馬バンドネオン・コンサート（賛助出演：名寄高校吹奏楽部）
- ⑤ 7月16日（土） 小澤ちひろ concert 2022 “My Country Home”
（共催：北海道文化財団）
- ⑥ 8月6日（土） 三山ひろしあなたの街へコンサート2022（2回公演）
- ⑦ 8月27日（土） 航空自衛隊中央音楽隊 名寄公演
- ⑧ 9月22日（木） 東儀秀樹（中学生を対象とした学校向け公演）
- ⑨ 9月23日（金） 東儀秀樹スペシャルコンサート～長月の宴
（共催：北海道教職員互助会、名寄ユネスコ協会）
- ⑩ 11月26日（土） NAYORO Brass FES 1st（仮）
（出演：武生商高吹奏楽部、深田元晴、名寄高校吹奏楽部）
11月27日（日） NAYORO Brass FES 2nd（仮）
（出演：Camera、深田元晴、名寄高校吹奏楽部）
- ⑪ 12月4日（日） カンマーフィルハーモニー札幌 名寄特別演奏会
- ⑫ 2月4日（土） P I A N O P I A N O P I A N O !
- ⑬ 2月26日（日） 名寄市少年少女オーケストラ第6回定期演奏会
- ⑭ 3月26日（日） E N - R A Y ホールの裏側（をちょこっと）体験（できる）ツアー

2 地域活動の拡充と参加促進

市民盆踊り大会の実施に向け、準備会で開催方法を検討し、実行委員会を組織し開催します。

◇開催日程 8月14日（日）※本年度中止 ◇場所 南広場

3 関係団体に対する負担金・補助金

| | |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 名寄市文化協会補助金 | 360,000円 |
| (2) 市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金 | 350,000円 |
| (3) なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金 | 10,000,000円 |
| (4) 名寄太鼓補助金 | 100,000円 |
| (5) 名寄市文化芸術振興助成金 | 1,000,000円 |
| (6) 市民盆踊り大会実行委員会補助金 | 200,000円 |

3 名寄市 風連生涯学習担当・

風連公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆社会教育拠点施設整備

【施設概要】

1 ふうれん地域交流センター<風っ子ホール>

(指定管理者制度導入 2期目 平成30年4月1日～ 5年間)

(1) 所在地 名寄市風連町本町6番地(指定管理者 TEL 01655-3-2531)

(2) 開設年月日 平成22年4月12日

(3) 主要施設 2階; 大ホール 311㎡、控え室 47㎡、中会議室 74㎡
3階; 会議室 64㎡、大会議室 104㎡、調理室 55㎡
4階; 研修室 44㎡、和室 73㎡

(4) 利用案内

・開館時間 午前9時～午後10時(午後6時以降の利用ない時閉館) 休館日なし

≪風連公民館 (TEL 01655-3-2620) ≫

2 風連陶芸センター

(1) 所在地 名寄市風連町仲町86番地 (TEL 01655-3-2743)

(2) 開設年月日 昭和54年9月1日

(3) 主要施設 建設面積; 184.22㎡
研修室(創作室) 80㎡、機械室(窯場) 50㎡

(4) 利用案内 最大利用人数 40人

・開館時間 午前8時45分～午後5時30分
～午後9時(夜間講座のみ)

・休館日 土・日曜日、国民の休日 ・年末年始(12月30日～1月5日)

◆生涯学習活動の推進と学習への支援

1 瑞生大学(高齢者事業)

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

(1) 学生数

| | | | | | |
|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 大学 | 1年生 | 6人 | 大学 | 2年生 | 4人 |
| 大学院 | 1年生 | 0人 | 大学院 | 2年生 | 2人 |
| 研究生 | 52人 | | | | |

合計 64人(男24人、女40人)

(2) 開設日 毎月7・17・27日を原則として開設

(3) 学習講座(年間30～35講座) 五つの風をテーマに学習

みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいで

- (4) クラブ活動 書道・フォークダンス・カラダン・パソコン
陶芸・パークゴルフ・茶華道等
趣味の会；すこっぷ三味線
- (5) 異世代間交流
風連中央小学校児童との交流会

2 風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援、瑞生大学陶芸クラブ指導

- ・市内各小学校の体験教室（随時）
- ・サークル活動（毎月2回）・一般陶芸教室（毎月2回）
- ・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月2～3回）・各団体等の体験研修会（随時）

3 風連公民館事業

(1) 会議の開催

- ・名寄市風連公民館運営審議会 (年2回開催予定)
第1回目 6月中旬～下旬 ・ 第2回目 2月中旬～3月上旬予定
- ・名寄市風連公民館分館長・主事会議 (年1～2回開催予定)
第1回目 6月中旬～下旬 ・ 第2回目 2月中旬～3月上旬予定

(2) 風連公民館講座

- ◇料理教室（手打ちそば） 令和4年12月17日(土)予定
- ◇書き初め・墨絵詩書教室 令和5年1月7日(土)予定
- ◇アウトドア体験講座(ワカギ釣)
- ◇初心者陶芸教室 令和5年3月上中旬 2回

(3) 花と緑の暮らし事業

風連公民館分館施設や各小中学校への花壇造成補助 (分館員活動拠点の美化)

(4) 風連公民館分館活動の推進

(5) 社会教育関係団体活動推進補助金（バス遠征費助成）

(6) 関係団体に対する補助金

風連瑞生大学自治会 (270,000円)

風連公民館各分館（5分館）

- 旭分館 (102,000円) ・ 下多寄分館 (114,000円)
- 日進分館 (78,000円) ・ 東風連分館 (114,000円)
- 西風連分館 (96,000円)

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

- 1 親子の絆を深める場の提供
親子で参加できる自然体験教室等の実施
- 2 企業等へ家庭教育に関する支援
風連地区企業へ「北海道家庭教育サポート企業制度」の周知

IV 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

- 1 少年の学習体験活動
都会っ子体験交流事業の推進
名寄市と東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達が共同生活の交流をとおして、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。
小学生（5年生～6年生）杉並区16名、名寄市16名
名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・杉並会場 8月5日～8日（3泊4日）

V 地域文化の継承と創造

◆文化芸術振興事業

- 1 郷土芸能活動への支援
風連御料太鼓保存会の後継者育成のための練習場所確保に協力。
- 2 風連文化祭
市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。
風連町文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。
◇芸能発表会 11月3日(文化の日)
◇作品展示等 11月2日～3日
- 3 関係団体に対する補助金
 - ・風連文化祭実行委員会 (200,000円)
 - ・風連町文化協会 (276,000円)
 - ・風連御料太鼓保存会 (59,000円)



令和3年11月3日 風連文化祭

4 名寄市智恵文公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆社会教育拠点施設整備

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

- 1 所在地 名寄市字智恵文 11 線北 2 番地（TEL 01654-8-2101）
- 2 開設年月日 昭和55年1月1日
- 3 主要施設
 - ・大集会室 264.0 m²
 - ・調理実習室 46.2 m²
 - ・研修室（老人室） 50.7 m²
 - ・和室 43.5 m²
 - ・図書閲覧室
 - ・研修室 43.5 m²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時（ただし未利用時は午後8時閉館を試行中）
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月30日～1月5日）

◆生涯学習活動の推進と学習への支援

- 1 情報提供と相談体制の整備
 - ・広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供
（毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等の情報発信）
 - ・各種情報の提供と社会教育施設間の連携による事業展開
- 2 学習要求に応える公民館活動
 - ・生涯学習アドバイザー（1名）の配置
 - ・友朋学級（高齢者学級）の開講
地域の65歳以上の希望者を対象に、講話・介護予防・小中学校との交流等の学級活動を推進
- 3 分館事業の支援
分館で、主に農閑期に料理教室・手芸教室・体操教室などに取り組むと共に地域課題に即した学習活動を実施
 - ・本館との事業連携や情報交換
 - ・地域活動の拠点としての事業実施を支援
- 4 世代間交流の促進
 - ・地域の小中学生と高齢者との交流事業実施と既存事業の活用
- 5 事業を通じての地域コミュニティの活性化
 - ・「ちえぶん健康まつり」の共催、「高齢者大学・学級合同作品展」の実施
- 6 地域資源を生かし、地域特性を考慮した社会教育環境の整備
 - ・「ちえぶん学講座」の開催
 - ・北海道博物館・中央老人クラブ主催「地域資源を生かしたまちづくり学習」への協力

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

- 1 親子の絆を深める場の提供
・親子書き初め教室の実施 1月上旬
- 2 関係機関・団体とのネットワークづくり
・家庭と学校、地域、関係機関、団体との事業連携

III 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

- 1 子ども会活動の促進援助
・オセロ大会（子ども会育成会との共催） 12月下旬
- 2 交流と集いの場の提供
・自由に集い、利用しやすい施設環境の充実
- 3 公民館事業の活用と学校教育との連携
・地域学校協働活動の支援

IV 地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

- 1 各種講座の開設と内容の充実
・自然・歴史・文化を学び、探究する機会づくり
観望会、自然観察会の開催、企画展示の実施
・趣味の作品展の開催（ちえぶん健康まつり共催） 2月
友朋学級や地域住民サークルなどが制作した作品を展示

5 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館は、児童が放課後等、遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し、情操を豊かにする自由来館型の安全安心な居場所として設置しています。

児童センターでは、季節の行事をはじめボランティアによる「読み聞かせ」や「一輪車教室」など行事内容の充実を図るとともに、施設機能を生かした遊びの場として利用増進を図っています。風連児童会館では、遊びの充実や健康増進を目指すとともに、風連児童クラブと連携した特色ある企画行事の活動を推進しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、南児童クラブ・東児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

1 令和4年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化するとともに、青少年の健全育成及び子育て支援を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努めます。

2 令和4年度運営方針

児童センター・児童会館は、幼児（保護者同伴）や児童生徒が遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して心身の健康を増進し、情操を豊かにするよう努めるとともに、児童や保護者にとって安全安心な居場所を提供します。

児童クラブは、保護者が就労等により、昼間家庭が留守となる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場所を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきます。

3 令和4年度事業計画

| 児童センター | 風連児童会館 | 南児童クラブ | 東児童クラブ | 風連児童クラブ |
|---|--|---|--|--|
| ◎毎月の行事 本の読み聞かせ 工作教室 けん玉教室・検定 ほっとタイム (DVD鑑賞) | ◎毎月の行事 お話タイム なわとび検定 キャンディ (DVD鑑賞) お誕生日会 | ◎毎月の行事 折り紙・工作・読み聞かせ けん玉検定 一輪車チャレンジ お誕生会 | ◎毎月の行事 読み聞かせ・折り紙教室 下の句かるた けん玉検定 お誕生会 | ◎児童会館の各種行事 と一緒に連携して行う ◎毎月の行事 お話タイム お誕生日会 |
| ◎季節の行事 七夕工作 ハロウィン 児童将棋大会 クリスマス会 卓球教室 まめまき ひなまつり お楽しみ会・表彰式 | ◎季節の行事 七夕まつり クリスマス会 新年お楽しみ会 冬のお話会 豆まきのつどい おひなまつり会 お茶会 お別れ会 | ◎季節の行事 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り 勤労感謝プレゼント作り クリスマス会 冬休み工作 節分行事 バレンタイン行事 ひなまつり会 卒業・進級を祝う会 | ◎季節の行事 子どもの日お祝い会 母の日プレゼント作り 父の日プレゼント作り 敬老の日プレゼント作り ハロウィン行事 クリスマス会 習字体験教室 節分行事 ひなまつり 茶道体験 卒業進級お祝い会 | ◎季節の行事 七夕まつり クリスマス会 新年お楽しみ会 冬のお話会 豆まきのつどい おひなまつり会 お茶会 お別れ会 |

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日程・内容が変更、中止、延期になる場合があります。

4 施設概要

【児童センター(愛称「ほっと21」)】

(1) 所在地 名寄市西11条北2丁目12番地54 (TEL・FAX: 01654-3-3465)

(2) 開設年月日 平成23年3月27日

経緯・旧青少年会館 昭和43年1月5日 ・旧児童センター 平成4年4月20日

・旧働く婦人の家 昭和48年1月20日 ・旧女性児童センター 平成16年4月1日

・両施設を廊下で結合 昭和52年8月 ※(旧青少年会館 一部解体 平成23年8月10日)

(3) 主要施設 延床面積 915.24㎡

| ・1階 | 589.21㎡ | ・2階 | 326.03㎡ |
|------------|---------|------------|---------|
| 児童室(集会室) | 32.2㎡ | 相談室 | 33.6㎡ |
| 図書室 | 46.2㎡ | 適応指導教室 | 33.6㎡ |
| 調理室 | 50.4㎡ | 適応指導教室(和室) | 67.2㎡ |
| ホール | 84.62㎡ | 会議室 | 32.2㎡ |
| 体育室 | 236.52㎡ | 講習室 | 67.2㎡ |
| 事務室 | 50.40㎡ | 2階廊下他 | 92.23㎡ |
| 1階用具庫、トイレ他 | 88.87㎡ | | |

(4) 利用案内

・開館時間 午前9時～午後5時

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

◎一般利用状況

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 262 | 249 | 237 |
| 延べ人数(人) | 3,835 | 2,513 | 2,423 |

◎放課後児童利用状況

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 262 | 249 | 237 |
| 延べ人数(人) | 3,260 | 2,454 | 2,053 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月17日～6月19日、8月30日～9月30日まで閉館

【風連児童会館】

(1) 所在地 名寄市風連町南町84番地1

(2) 開設年月日 昭和50年12月1日

(3) 主要施設 延床面積 899.40㎡

・児童室 47.00㎡ ・プレイルーム 144.00㎡

・資料室 30.50㎡ ・事務室 30.00㎡

・1階用具庫・トイレ他 269.58㎡

・旧図書館風連分館 (1階) 155.52㎡ (2階) 222.8㎡

(4) 利用案内

・開館時間 午前9時～午後5時

・休館日 日曜日、国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

◎放課後児童利用状況

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 262 | 249 | 293 |
| 延べ人数(人) | 9,081 | 7,059 | 6,845 |

【南児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市西6条南12丁目55番地2(名寄市立名寄南小学校敷地内)

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(改築年月日) 平成28年4月1日

(3) 主要施設 延床面積 307.22㎡
・児童室(プレイルーム) 191.29㎡
・図書室 16.56㎡
・静養室 4.97㎡
・ホール 23.19㎡
・事務室 26.50㎡
・1階用具庫・トイレ他 44.71㎡

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

◎1年生クラス

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 290 | 293 | 293 |
| 延べ人数(人) | 6,920 | 7,221 | 5,213 |

◎2年生クラス

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 290 | 293 | 293 |
| 延べ人数(人) | 6,628 | 4,805 | 5,505 |

◎3・4・5・6年生クラス

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 290 | 293 | 293 |
| 延べ人数(人) | 1,944 | 3,197 | 4,817 |

【東児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市東5条南3丁目63番地40

(2) 開設年月日 平成28年12月1日

(3) 主要施設 延床面積 115.83㎡
・1階 76.95㎡ ・2階(図書室) 38.88㎡
児童室 54.27㎡
トイレ他 22.68㎡

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 290 | 293 | 293 |
| 延べ人数(人) | 7,176 | 7,246 | 7,011 |

【風連児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地2

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(改築年月日) 平成23年1月21日

(3) 主要施設 延床面積 142.80㎡

・児童室 46.0㎡

・遊戯室 46.0㎡

・トイレ他 50.8㎡

(4) 利用案内

- ・開館時間 平日 下校時～午後6時30分
土曜日・長期休業日 午前8時00分～午後6時30分
- ・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始(12月31日～1月5日)

(5) 利用状況

| 年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 開設日数(日) | 290 | 293 | 293 |
| 延べ人数(人) | 6,198 | 5,774 | 5,999 |

5 放課後子ども教室

放課後等に、社会教育施設等を活用し、子どもたちの安全、安心な居場所となる活動拠点を設け、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、自ら学ぶ姿勢を高め学習習慣の定着を図っています。

・令和3年度利用者数(実人員)

名寄市児童センター教室(毎週水曜日)・・・小学生 10人

ふうれん地域交流センター教室(毎週木曜日)・・・小学生 2人

名寄市民文化センター教室(毎週火曜日)・・・中学生 4人

ふうれん地域交流センター教室(毎週木曜日)・・・中学生 0人

6 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 令和4年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的に実施している巡視・指導活動を通して子どもの犯罪と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

2 令和4年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、夜間巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等、各校安心会議の参加）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 青少年健全育成研修会・指導員研修会の開催、他機関の研修会への参加
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 令和4年度事業計画

| 月 | 活動内容 | 会議・連携 |
|-----|--|--------------------------------------|
| 4月 | | |
| 5月 | 名寄市青少年センター指導員研修会 | 名寄市生徒指導・補導協議会総会 |
| 6月 | 第1回名寄市青少年問題協議会 特別巡視（公園点検） | 名寄警察署少年補導員連絡協議会 社会を明るくする運動名寄実施委員会 |
| 7月 | 名寄市青少年表彰推薦依頼（高校・大学・企業団体） 北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査 | 社会を明るくする運動 名寄市安全安心地域づくり推進協議会 |
| 8月 | 特別巡視（祭典：名寄・風連） | 安全安心円卓会議 |
| 9月 | 名寄市青少年表彰選考専門委員会 名寄市青少年健全育成研修会 | 薬物乱用防止指導員上川北部地区協議会総会 |
| 10月 | 名寄市青少年表彰式 名寄市青少年健全育成標語募集（市内各小・中・高等学校：13校） | |
| 11月 | 名寄市青少年健全育成標語選考委員会 名寄市青少年健全育成標語入選者表彰式 | 名寄市生徒指導・補導協議会 名寄市安全安心地域づくり推進協議会 |
| 12月 | 名寄市青少年健全育成標語ポスター掲示 | |
| 1月 | | 名寄地区保護司会名寄支部研修会 |
| 2月 | | 名寄市生徒指導・補導協議会 |
| 3月 | 第2回名寄市青少年問題協議会 | |
| 通年 | 一般巡視・夜間巡視 | 各小学校安心会議 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため日程・内容が変更、中止、延期になる場合があります。

7 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する支援、指導等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や、不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室（愛称:みんなの教室）」を開設しています。

平成 23 年度からは、教育推進アドバイザー 1 名を配置して学校生活における問題への対応と、教職員並びに関係機関との連携を図っています。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、自立支援や学校復帰に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行っています。適応指導教室への通室は、学校への出席としてみなされます。

令和 3 年度入室者数（実人員）

| 小学生 | 中学生 | 合計 |
|-----|------|------|
| 1 人 | 14 人 | 15 人 |

令和 4 年度入室者数（実人員） 令和 4 年 5 月末現在

| 小学生 | 中学生 | 合計 |
|-----|-----|-----|
| 0 人 | 7 人 | 7 人 |

ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・ひきこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

【電話・面談等の集計表】

（令和 3 年度末）

| | 相 談 者 | | | | | | | | 相 談 区 分 | | | | | | | | | | | | | 合 計 | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|---|-----------|---------------|-------|---------|-------|---------|-------------------|---------|-------|---------------|---------------------|---------------------------------|---------|-----------|-------------------|---------|-----|---------------------|-------|
| | 保 護 者 | 小 学 生 | 中 学 生 | 高 校 生 | | 一 般 | | | 合 計 | 不 登 校 | 復 帰 後 | | | い じ め | 学 業 ・ 進 路 問 題 | 親 子 関 係 （ 家 庭 環 境 ） | 性 じ か か わ る 問 題 （ 含 む 異 性 関 係 ） | 生 活 一 般 | 学 校 の 対 応 | 健 康 問 題 ・ 発 達 障 害 | 友 人 関 係 | | 育 児 ・ 子 育 て ・ し つ け | そ の 他 |
| | | | | 在 学 中 | 他 | 学 校 関 係 者 | 関 連 機 関 職 員 等 | そ の 他 | | | 学 習 支 援 | 気 力 回 復 ・ 気 力 転 換 | 家 族 支 援 | | | | | | | | | | | |
| 電 話 | 59 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 63 | 45 | 0 | 0 | 2 | 0 | 8 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 61 |
| 面 談 | 96 | 240 | 146 | 1 | 3 | 18 | 4 | 0 | 508 | 330 | 70 | 10 | 2 | 0 | 14 | 11 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 445 |
| 合 計 | 155 | 240 | 148 | 1 | 4 | 19 | 4 | 0 | 571 | 375 | 70 | 10 | 4 | 0 | 22 | 12 | 0 | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 | 506 |

3 教育推進アドバイザー

- (1) いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- (2) 必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- (3) 家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- (4) 教職員並びに関係機関との連携に関すること

8 名寄市北国博物館

名寄市北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び传承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としています。

1 令和4年度重点目標

○博物館活動を通じた情報発信と地域に開かれた交流施設となる事業の推進

- ①「名寄の歴史、自然」をテーマとした普及事業を実施し、地域の理解をより深める。
- ②自然とのふれあいや体験活動、子ども同士や親子の交流を目的とした青少年事業の実施
- ③文化財や史跡の保全と普及啓発に関する事業の実施。

2 令和4年度事業予定

| 月 | 展示会 | 観察会・普及事業 | その他 |
|----|--|-------------------------------------|---|
| 4 | サロン・ドートンヌ会員 及川幸雄展 | | キマロキ編成一般公開 |
| 5 | なよろ野の花の会「野外植物展」 | ・春の健康の森を歩こう (観察クラブ) | GW特別開館(5/2月曜) ※博物館で遊ぶのは中止 ・巡回展関連講座「比べる視点で地域映像を楽しむサロン」 |
| | ラッパ展「GW鉄道ミニ企画展」 巡回展「探してみよう!地域のお宝」 ラッパ展「杉並区名寄自然体験報告展」 | ・春の自然観察会 ・草木染体験 春ヨモギ | |
| 6 | 北国風景画同好会風花作品展 | ・土別の森探検!(観察クラブ) | |
| 7 | 特別展「ヒグマ」 | ・川釣り体験(観察クラブ) ・生物樹脂封入標本作り | ・特別展関連講演会「里に近づくヒグマたち~理由と安全対策」 |
| 8 | | ・野外活動「名寄川水質調査」 ・草木染体験 夏材アワダチソウ | ・特別展関連企画「博物館で読み聞かせ会」 |
| 9 | 企画展「森脇啓好写真展 エゾリスの四季」 | ・智恵文沼でヒシの実を採って食べよう(観察クラブ) | ・森脇啓好ギャラリートーク |
| 10 | 企画展「指定文化財 名寄教会会堂」 | ・健康の森で秋を探そう (観察クラブ) ・秋の自然観察会 | ・文化財めぐり 名寄教会見学会 |
| 11 | 風花「秋の作品展」 | ・ものづくり体験(観察クラブ) ・草木染体験 冬ミヅナ・ヤマドリ | |
| 12 | 特別展 | ・キャンドル作り(観察クラブ) | ・杉並区児童名寄自然体験交流 |
| 1 | 「厳冬のきらめき 細氷現象展」 | ・森のたんけん隊 2023 冬 | ・冬季特別展関連講座 |
| 2 | ラッパ展「台所と道具のいま・むかし」 | ・冬の森観察会 | ・薪・石炭ストーブで料理作り |
| 3 | 令和4年度新着資料展 | ・早春の森観察 | |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間・内容変更、中止、延期になる場合があります。

3 常設展示内容（面積：570㎡）

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

- 北国名寄・・・・・・どうして多雪・寒冷なのか
- 北の先史・・・・・・氷河期後の人間の暮らし
- カムイの森・・・・・・冬の森を通して見たアイヌの自然観と文化
- さむさ・ひと・くらし・・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史
- 映像コーナー・・・・・・3面マルチスクリーンによる上映
 - 「北交響」～北国名寄の四季の移ろい
 - 「北国・名寄の歴史」～開拓期から現代まで
 - 名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など
- 郷土コーナー・・・・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」
 - アイヌの伝承者「北風磯吉」
 - 名寄が生んだ名力士「名寄岩」
 - アイヌ文化の景勝地 名勝「九度山」

4 北国博物館施設概要

- (1) 所在地 名寄市字緑丘222番地（TEL兼FAX 3-2575）
- (2) 開館年月日 平成8年2月10日
- (3) 主要施設
 - 延床面積 2,099㎡（1階 1,655㎡・2階 444㎡）

| 1 階 | | 2 階 | |
|-----------|------|-------|------|
| エントランスホール | 114㎡ | 地域情報室 | 72㎡ |
| ギャラリーホール | 154㎡ | 講堂 | 107㎡ |
| 第1収蔵庫 | 60㎡ | 書庫 | 42㎡ |
| 第2収蔵庫 | 177㎡ | 研究室 | 130㎡ |
| 常設展示室 | 570㎡ | | |

5 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
 休館日 毎週月曜日・年末年始
 観覧料

| 常設展 | 区分 | | 観覧料 | 特別展 | 区分 | 区分 | 観覧料 |
|-----|-------|-------|------|-------|----|-------|-----|
| | 個人 | 一般・学生 | 220円 | | 個人 | 一般・学生 | |
| 高齢者 | | 110円 | 高齢者 | | | | |
| 団体 | 一般・学生 | 152円 | 団体 | 一般・学生 | | | |

- 備考
- 1 高校生以下は無料とする。
 - 2 障がい者を有する者（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳のいずれかを有する者）及び介助者は、無料とする。
 - 3 高齢者とは、65歳以上の者をいう。
 - 4 団体は1団体10人以上とする。

6 施設利用状況

| 年度 | 個人 | | | | 団体 | | | 行事、他 人数 | 利用者 総計 |
|------|-------|-------|-----|-----|------|-----|-----|------------|-----------|
| | 幼小中 | 高校・一般 | 免除 | 免除 | 団体 | 見学 | 視察 | | |
| 平成29 | 721 | 2,062 | | | 高年齢者 | 584 | 151 | 718 | 108 |
| 年度 | 高校生以下 | 一般・学生 | 免除 | 団体 | | 見学 | 視察 | 行事等 | 総計 |
| 平成30 | 586 | 1,564 | 532 | 378 | 138 | 954 | 80 | 7,020 | 11,252 |
| 令和元 | 544 | 1,588 | 512 | 388 | 113 | 992 | 54 | 6,212 | 10,403 |
| 令和2 | 379 | 1,206 | 239 | 190 | 78 | 466 | 2 | 3,961 | 6,521 |
| 令和3 | 598 | 1,377 | 241 | 258 | 0 | 469 | 14 | 4,453 | 7,410 |

※平成30年度から使用料改定に伴う、利用者区分の変更有り

7 資料受入状況

| 年 度 | 寄 贈 | | 採 集 | | 収 集 (購入) | | 計 (点数) |
|------|-----|-----|-----|-----|----------|-----|-----------|
| | 件 数 | 点 数 | 件 数 | 点 数 | 件 数 | 点 数 | |
| 平成29 | 24 | 368 | 0 | 0 | 0 | 0 | 368 |
| 平成30 | 27 | 535 | 0 | 0 | 0 | 0 | 535 |
| 令和元 | 22 | 165 | 0 | 0 | 0 | 0 | 165 |
| 令和2 | 22 | 228 | 0 | 0 | 0 | 0 | 228 |
| 令和3 | 20 | 165 | 0 | 0 | 0 | 0 | 165 |

8 資料保有数

| 区 分 | 地 学 | 生 物 | 考 古 | 民 族 | 生 活 | 産 業 | 文献記録 | 合 計 |
|------------|-------|-------|--------|-----|--------|--------|-------|---------|
| 平成29年度末保有数 | 5,572 | 2,791 | 84,318 | 531 | 12,044 | 13,072 | 7,356 | 125,684 |
| 平成30年度末保有数 | 5,588 | 2,803 | 84,356 | 534 | 12,194 | 13,100 | 7,644 | 126,219 |
| 令和元年度末保有数 | 5,614 | 2,805 | 84,383 | 534 | 12,241 | 13,138 | 7,669 | 126,384 |
| 令和2年度末保有数 | 5,617 | 2,805 | 84,386 | 534 | 12,366 | 13,183 | 7,721 | 126,612 |
| 令和3年度末保有数 | 5,617 | 2,805 | 84,389 | 535 | 12,405 | 13,187 | 7,839 | 126,777 |

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

| 名称 | 所在地 | 指定面積 | 指定年月日 | 説明 |
|-----------------------|------------|------|----------------|--|
| 天然記念物 名寄鈴石 | 緑丘109-4 | 40a | 昭和14年 9月7日 | 核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。 |
| 天然記念物 名寄高師小僧 | 瑞穂 | 23a | 昭和14年 9月7日 | 湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。 |
| 名勝 九度山 (クハツマヅリ) | 日進・ 智恵文 | 522a | 平成21年 7月23日 | アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。 |

(2) 市指定文化財

| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
|------|--|-------|-----------|------------|
| 第1号 | 風連獅子舞 | 無形文化財 | 瑞生下多寄神社 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第2号 | グイマツ | 天然記念物 | 東風連3395番地 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第3号 | 名寄教会会堂 | 有形文化財 | 大通南2丁目 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を経営していた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第4号 | ミズナラ林 | 記念物 | 名寄公園 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。 | | | |

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレバツの流れのなかで

1 階

- エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m重さ6トン）が展示してあります。
- 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2 階

- 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

| 区分 | 開設日 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 一般 | 合計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 平成29年度 | 14 | 21 | 0 | 0 | 67 | 88人 |
| 平成30年度 | 9 | 27 | 0 | 0 | 54 | 81人 |
| 令和元年度 | 3 | 25 | 0 | 0 | 11 | 36人 |
| 令和2年度 | 4 | 0 | 0 | 0 | 14 | 14人 |
| 令和3年度 | 5 | 19 | 0 | 0 | 9 | 28人 |

3 風連歴史民俗資料館概要

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地2

(2) 開館年月日 平成2年4月1日

(3) 主要施設

延床面積 645.76 m² (1階 258.635 m² 2階 387.125 m²)

1階

エントランス・ピラー 59.163 m²

常設展示室 176.750 m²

収蔵庫 55.980 m²

2階

特別展示室 102.750 m²

収蔵展示室 78.006 m²

(4) 資料保有数 12,435点

4 利用案内 受付は名寄市北国博物館 又は 風連生涯学習担当へ電話連絡

開館時間 : 午前10時～午後4時

休館日 : 土・日曜日、祝日、12月1日～3月31日

観覧料 : 無料

9 市立名寄図書館

1 令和4年度運営方針

市民の読書活動と学びを支援する身近な教育施設として、利用者ニーズに即した資料収集および機能の充実に努め、きめ細やかな読書サービスを提供するとともに、子どもの読書活動を推進する。

2 令和4年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

| 事業区分 | 事業内容 |
|----------|--|
| 蔵書の充実 | 蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、利用者のニーズに対応した図書の整備、児童図書の充実によるサービスの向上を図る。 |
| 移動図書館 | 自動車文庫「やまゆり号」の巡回により市内全域へのサービスを提供する。 ・巡回サービス：名寄地区10か所（月2回、4月～11月の間巡回） 風連地区2か所（月1回、毎月巡回） ・遠隔地小中学校・保育所・幼稚園：名寄地区15か所 ・配本所：名寄地区4か所、風連地区3か所 ※遠隔地小中学校の巡回時に読み聞かせを実施 |
| 障がい者支援 | 障がい者等が図書を利用するためのサービスの提供を図る。 ・録音図書：ボランティア団体「名寄声の図書館」との連携 ・録音データ「サピエ」による提供 ・図書宅配サービスの実施 |
| 情報の収集・提供 | レファレンスサービス・相互貸借の充実を図る。 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、利用者へ広範な資料提供 ・インターネットや国立国会図書館、北海道立図書館のネットワーク活用 ・図書館ホームページやTwitter、市広報、図書館だより、FM放送等による情報の提供 （発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等） |

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

第4次子どもの読書活動推進計画に基づき、図書館ボランティアや幼児施設・学校等と連携し、読書普及活動や啓発活動を実施、読書環境を整備する。

- ・名寄本館での行事開催
 幼児や児童、保護者を対象とした行事の定期開催（金ようおはなしクラブ、ペンギンクラブ）
 読書週間、夏休み、冬休みの行事や一日司書体験、土曜ビブリオトークの開催
- ・風連分室での行事開催
 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしポケット、おはなしタイム）
 季節毎の行事や一日司書体験等の開催
- ・読み聞かせ連絡会議の開催
- ・学校専用図書の貸出
- ・名寄市内学校図書館・市立名寄図書館担当者会議の開催

② 一般向け読書普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や図書館の利用促進、読書普及を図るための事業を企画実施する。

- ・ミニ展示（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・文学講座 9～10月に全5回程度で開催予定
- ・雑誌リサイクル 11月3日（文化の日）
- ・ビブリオバトル 11月予定

3 分類別蔵書冊数

(令和4年 3月31日現在)

| 区分 | 総記 | 哲学 | 歴史 | 社会学 | 自然科学 | 技術 | 産業 | 芸術 |
|------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|
| 名寄本館 | 4,416 | 3,268 | 7,890 | 17,104 | 6,465 | 8,010 | 3,531 | 8,930 |
| 風連分室 | 535 | 601 | 1,413 | 2,734 | 898 | 1,711 | 573 | 1,418 |
| 合計 | 4,951 | 3,869 | 9,303 | 19,838 | 7,363 | 9,721 | 4,104 | 10,348 |

| 区分 | 言語 | 文学 | 参考 | 大活字 | 児童 | 紙芝居 | 大型絵本 | 合計 |
|------|-------|--------|-------|-----|--------|-------|------|---------|
| 名寄本館 | 1,216 | 40,294 | 5,601 | 592 | 39,141 | 1,098 | 115 | 147,671 |
| 風連分室 | 137 | 12,672 | 1,004 | 119 | 11,537 | 807 | 40 | 36,199 |
| 合計 | 1,353 | 52,966 | 6,605 | 711 | 50,678 | 1,905 | 155 | 183,870 |

4 施設概要

【本館】

- (1) 所在地 名寄市大通南2丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)
 (2) 開設年月日 昭和45年8月1日
 (3) 各室案内
 延床面積 1,683㎡ (1階:591㎡ 2階:648㎡ 3階:379㎡ 4階:65㎡)

| | | | |
|-----|------------|--------------|-------|
| 1階 | 2階 | 3階 | 4階 |
| 閲覧室 | 会議室 | 読書室 | 資料収納庫 |
| 新聞庫 | 北海道・名寄コーナー | 休憩室 | |
| 児童室 | 保存用閉架書庫 | 国際親善メモリアルホール | |

【風連分室】

- (1) 所在地 名寄市風連町西町201 風連中央小学校内 (TEL 01655-7-8000)
 (2) 開設年月日 平成31年1月16日

5 利用案内

- (1) 本館 ①開館日 火曜日・金曜日・土曜日・日曜日 9時30分～17時00分
 水曜日・木曜日 9時30分～19時00分
 ②特別開館日 11月3日(文化の日)
 ③休館日 月曜日・毎月末日・祝日・年末年始・特別整理日
- (2) 風連分室 ①開館日 月曜日～金曜日 9時30分～17時00分
 土曜日 9時30分～13時00分
 ②休館日 日曜日・毎月末日・祝日・年末年始・特別整理日

10 なよろ市立天文台

1 令和4年度運営方針

天体観測並びに研究活動を通じ、天文愛好者・天体観測関係機関との連携を生かすことにより、市民への天文知識の普及と科学教育の振興を図る。

2 令和4年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・通常の観望会（昼間の星も含め、随時実施）
- ・特別観望会（13回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・日常からの星空配信（YouTubeによる配信）
- ・天文教室（天文講座の開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・移動式天文台車ポラリスⅡ号による出前観望会の実施
- ・「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供 (<https://navoro-star.jp>)
- ・twitter (@kitasubaru)、facebook及びメルマガによる情報提供
- ・市内ボランティアによるインターネットTV「きたすばるどっとこむ」放送

(2) プラネタリウム

- ・毎晩の星空解説
- ・プログラム番組の投影
- ・授業内容に合わせた学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）
- ・熟睡プラ寝たりウム、マタニティプラネタリウム、東日本大震災特別番組、学習投影の保護者向け投影などの企画投影

(3) 調査・研究

- ・観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・研究観測（太陽黒点・超新星の搜索・小惑星による恒星食等）
- ・北海道大学大学院と連携した研究・観測
名寄市と北海道大学大学院理学研究科で、平成17年度に相互協力協定を締結
平成23年に160cm光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

(4) その他企画

- ・小学生による小惑星発見プロジェクト ・天文台カード発行
- ・石垣島天文台とのスタンプラリー ・わくわく惑星ラリー
- ・きたすばる星と音楽の集いなど星と音楽の融合をテーマにしたイベントの開催
（新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら検討）

3 なよろ市立天文台施設概要

(1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (Tel 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@navoro-star.jp URL <https://www.navoro-star.jp>

(2) 開設年月日 平成22年4月17日

(3) 主要施設 建物延床面積 1036.75 m² 建築面積 775.66 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、
企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

- 機器 160 cm光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
 50 cmカセグレン望遠鏡（愛称：きたてらす）
 40 cmカセグレン望遠鏡2台（愛称：美ら、^{ちゅ}美麗）
 40cm カセグレン望遠鏡搭載移動式天文台車

4 利用案内

- (1) 開館時間：火曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分（4月～10月）
 13時～20時00分（11月～3月）
- (2) 休館日：月曜日・祝日直後の休館日でない日・（7・8・12・3月を除く）最終火曜日
- (3) 観覧料：高校生以下、障がい者とその介助者は無料
 大人 410円 大学生 310円 65歳以上 200円
 団体料金(10名以上) 大人 310円 大学生 200円
 年間パスポート 大人 1,250円 大学生 1,040円 65歳以上 620円
- (4) 施設利用料：
 レクチャールーム Aタイプ（約100人収容） 1時間 419円
 Bタイプ（約50人収容） 1時間 210円
 プラネタリウム占有利用（常設席50席） 30分 210円

5 協定

- (1) 北海道大学 大学院理学研究院
 (2) 国立天文台 石垣島天文台
 (3) 台湾 台北市天文科学教育館

6 利用実績推移

(人)

| | 区分 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------|-------|--------|-------|-------|
| 有料 | 一般 | 2,842 | 1,410 | 1,494 |
| | 大学生 | 122 | 55 | 53 |
| | 65歳以上 | 484 | 120 | 174 |
| | 団体 | 357 | 52 | 30 |
| | パスポート | 116 | 48 | 54 |
| 無料 | 障害者 | 298 | 94 | 93 |
| | 高校生以下 | 3,798 | 1,554 | 2,130 |
| | パスポート | 535 | 300 | 183 |
| | その他 | 2,716 | 1,141 | 1,040 |
| 観覧者合計 (A) | | 11,268 | 4,774 | 5,251 |
| 施設外利用 (B) | | 3,437 | 264 | 164 |
| 利用者合計 (A+B) | | 14,705 | 5,038 | 5,415 |

新型コロナウイルスの関係で令和元年度3月、令和2年度4月・5月（26日まで）、令和3年度5月18日～6月20日、8月31日～9月30日は臨時休館

1 1 学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

| 学 校 名 | 利用日数 (日) | | | 利用者数 (人) | | | 利用平均 (人/1日) | |
|-------------|----------|-------|-----|----------|--------|------|-------------|------|
| | 3年度 | 2年度 | 前年比 | 3年度 | 2年度 | 前年比 | 3年度 | 2年度 |
| 名 寄 小 学 校 | 214 | 248 | 86% | 6,186 | 7,467 | 83% | 28.9 | 30.1 |
| 名 寄 南 小 学 校 | 199 | 276 | 72% | 7,462 | 9,838 | 76% | 37.5 | 35.6 |
| 名 寄 東 小 学 校 | 193 | 226 | 85% | 6,006 | 5,408 | 111% | 31.1 | 23.9 |
| 名 寄 西 小 学 校 | 181 | 248 | 73% | 4,308 | 4,877 | 88% | 23.8 | 19.7 |
| 智 恵 文 小 学 校 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 名 寄 中 学 校 | 170 | 214 | 79% | 1,950 | 2,756 | 71% | 11.5 | 12.9 |
| 名 寄 東 中 学 校 | 167 | 230 | 73% | 2,937 | 4,300 | 68% | 17.6 | 18.7 |
| 智 恵 文 中 学 校 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合 計 | 1,124 | 1,442 | 78% | 28,849 | 34,646 | 83% | 25.7 | 24.0 |

【風連地区】

| 学 校 名 | 利用日数 | | | 利用人数 | | | 平均利用人数 | |
|---------------|------|-----|-----|-------|-------|-----|--------|------|
| | 3年度 | 2年度 | 前年比 | 3年度 | 2年度 | 前年比 | 3年度 | 2年度 |
| 風 連 中 央 小 学 校 | 166 | 204 | 81% | 3,107 | 3,965 | 78% | 18.7 | 19.4 |
| 東 風 連 小 学 校 | 104 | 147 | 71% | 1,496 | 1,927 | 78% | 14.4 | 13.1 |
| 風 連 日 進 小 学 校 | 25 | 50 | 50% | 328 | 632 | 52% | 13.1 | 12.6 |
| 合 計 | 295 | 401 | 74% | 4,931 | 6,524 | 76% | 16.7 | 16.3 |

IV 資料

| | | |
|---|-----------|-----|
| 1 | 審議会・委員会 | 7 2 |
| 2 | 旧名寄市教育の沿革 | 7 5 |
| 3 | 旧風連町教育の沿革 | 8 2 |
| 4 | 名寄市教育の沿革 | 8 6 |

1 審議会・委員会

◎会長、委員長

○副会長、副委員長

(令和4年6月末現在)

教育支援委員会 (任期 ~R6.3.31)

| | |
|---------------|--------------|
| 平野至規 (医師) | 大沼貢 (関係教育機関) |
| 千田ちさと (学識経験者) | 大千葉章雅 (") |
| 糸田尚史 (") | 大橋毅士 (") |
| 中澤幸子 (") | 大辻村和一也 (") |
| 奥村香澄 (") | 河加口藤一葉 (") |
| 小野直久 (関係教育機関) | 丸藤太恵一理 (") |
| ◎妹尾洋美 (") | 金井子菜央 (") |
| 鎌田昌記 (") | 安橋本沙也 (") |
| 加藤理恵 (") | 柴田沙知 (") |
| 林琢磨 (") | 中屋篤史 (") |
| 八十嶋理世子 (") | 菅野真奈美 (福祉関係) |
| 小西潤子 (") | 香川久美子 (") |
| 荒井綾 (") | 齋藤七江 (行政機関) |

学校給食センター運営委員会 (任期 ~R6.3.31)

| | |
|---------------|----------------|
| ◎黒川清 (学識経験者) | ○柳瀬大介 (P T A) |
| 高橋美和子 (学識経験者) | 柳十亀奈緒美 (P T A) |
| 黒河あおい (学識経験者) | 林琢磨 (P T A) |
| 鎌田昌記 (学校校長) | |
| 民輪伸幸 (学校校長) | |
| 石坂剛 (学校校長) | |

名寄市社会教育委員の会 (任期 ~R6.3.31)

| | |
|-----------------|--------------|
| ◎大坂祐二 (学識経験者) | 早川正一 (学識経験者) |
| ○若槻五郎 (社会教育関係者) | 早宗万広美 (") |
| 早坂昌俊 (学校教育関係者) | 武井麻里 (") |
| 民輪伸幸 (") | 高井博道 (") |
| 鈴木究 (") | 内田明美 (") |
| 山崎巧繕 (社会教育関係者) | 宮崎敬市 (") |
| 高木慎一郎 (") | 上口里美 (") |
| 高橋直樹 (") | 泊り雅幸 (") |
| 上西靖子 (家庭教育関係者) | 岩崎美雪 (") |

生涯学習推進アドバイザー

木村美佳子 又村靖子 蓑輪千恵

名寄市公民館運営審議会及び名寄市民文化センター運営委員会 (任期 ~R6.3.31)

| | |
|-----------------|-----------------|
| ◎櫻庭一也 (学校教育関係者) | 佐々木恵子 (社会教育関係者) |
| ○有田昭宗 (学識経験者) | 石田十羽完 (") |
| 坂野裕悦 (学校教育関係者) | 黒田美代子 (学識経験者) |
| 近江利佳 (社会教育関係者) | 山本誠 (") |

名寄市風連公民館運営審議会並びにふうれん地域交流センター運営委員（任期 ～R6. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|------|---------|
| ○中村公暢 | （学校教育） | 橋本貴允 | （学識経験者） |
| ◎山下則之 | （学識経験者） | 高木幸恵 | （　　〃　　） |
| 松樹恒史 | （　　〃　　） | 上畑稔 | （　　〃　　） |
| 又村裕司 | （　　〃　　） | | |

名寄市児童館運営委員（任期 ～令和5. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|-------|-----------|
| ◎木田雅博 | （学識経験者） | 高橋直樹 | （学校教育関係者） |
| ○鈴木豊 | （教育関係者） | 菅藤希美恵 | （利用保護者） |
| 種畑誠 | （利用保護者） | 林谷節子 | （利用団体） |
| 秋川博幸 | （利用保護者） | 刈谷直幸 | （利用団体） |
| 林琢磨 | （利用保護者） | | |

名寄市児童クラブ運営委員（任期 ～令和5. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|-------|-----------|
| ◎木田雅博 | （学識経験者） | 高橋直樹 | （学校教育関係者） |
| ○鈴木豊 | （教育関係者） | 菅藤希美恵 | （利用保護者） |
| 種畑誠 | （利用保護者） | 林谷節子 | （利用団体） |
| 秋川博幸 | （利用保護者） | 刈谷直幸 | （利用団体） |
| 林琢磨 | （利用保護者） | | |

名寄市青少年問題協議会委員（任期 ～令和6. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|-------|----------|
| ◎檜山秀明 | （学識経験者） | 櫻庭一也 | （教育関係者） |
| ○濱谷則之 | （　　〃　　） | 太田健 | （　　〃　　） |
| 岩橋明教 | （　　〃　　） | 宮崎勉 | （　　〃　　） |
| 高橋直樹 | （　　〃　　） | 大西益巳 | （　　〃　　） |
| 泉谷暖 | （　　〃　　） | 畑瀬智恵美 | （　　〃　　） |
| 宗万広美 | （　　〃　　） | 岸上健太郎 | （関係行政機関） |
| 鈴木きみ子 | （　　〃　　） | | |

名寄市博物館協議会（任期 ～6. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|------|---------|
| ◎佐藤源嗣 | （学識経験者） | 吉田俊也 | （学識経験者） |
| ○中島真美 | （　　〃　　） | 松樹三枝 | （　　〃　　） |
| 早坂昌俊 | （学校教育） | | |
| 荻野大助 | （学識経験者） | | |

名寄市文化財審議会（任期 ～6. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|------|---------|
| ◎佐藤源嗣 | （学識経験者） | 吉田俊也 | （学識経験者） |
| ○中島真美 | （　　〃　　） | 松樹三枝 | （　　〃　　） |
| 早坂昌俊 | （学校教育） | | |
| 荻野大助 | （学識経験者） | | |

名寄市図書館協議会（任期 ～6. 3. 31）

| | | | |
|-------|---------|------|----------|
| ◎堀川真 | （学識経験者） | 関野益美 | （学識経験者） |
| ○田村悦子 | （　　〃　　） | 民輪伸幸 | （学校長） |
| 山下美佐子 | （　　〃　　） | 日向恭司 | （幼児教育代表） |
| 飯村郁子 | （　　〃　　） | | |

なよろ市立天文台運営委員会（任期 ～6. 3. 31）

| | | | |
|--------|---------|------|--------|
| ◎播本雅津子 | （学識経験者） | 泉谷暖 | （社会教育） |
| ○大谷秀二 | （　　〃　　） | 太田健 | （学校教育） |
| 小山均 | （社会教育） | 北浦怜那 | （社会教育） |

名寄市文化芸術審議会（任期 ～R6. 3. 31）

| | | | |
|------|--------------|------|--------------|
| 大坂祐二 | （学識経験者） | 武井麻里 | （学識経験者） |
| 若槻五郎 | （文化芸術関係団体推薦） | 上口里美 | （ 〃 ） |
| 中村洋子 | （学識経験者） | 森川和子 | （文化芸術関係団体推薦） |
| 早川正一 | （ 〃 ） | 佐藤勝市 | （ 〃 ） |
| 山崎巧繕 | （ 〃 ） | 宮崎敬市 | （ 〃 ） |

名寄市民文化センター事業企画委員会（任期 ～R5. 3. 31）

| | | | |
|---------|-----------|-------|-----------|
| ◎扇谷茂幸 | （学識経験者） | 富田耕一郎 | （文化芸術関係者） |
| ○長谷川まゆみ | （文化芸術関係者） | 今井利憲 | （学識経験者） |
| 中島純一 | （学識経験者） | 山内豊 | （文化芸術関係者） |
| 千々石奈穂美 | （文化芸術関係者） | 伊藤美和子 | （文化芸術関係者） |
| 北村久仁子 | （ 〃 ） | 山本真平 | （学識経験者） |

名寄市智恵文公民館運営審議会（任期 ～R5. 3. 31）

| | | | |
|-------|--------|------|--------|
| ◎松下守 | （社会教育） | 飯塚勝也 | （社会教育） |
| ○太田健 | （学校教育） | 夏井静加 | （家庭教育） |
| 野原格子 | （社会教育） | 南原美穂 | （家庭教育） |
| 菅野真記子 | （社会教育） | | |

名寄市育英奨学審議会委員会（任期 ～R6. 3. 31）

| | | | |
|------|---------|-------|---------|
| 鈴木究 | （教育関係者） | 染木千明 | （学識経験者） |
| 櫻庭一也 | （ 〃 ） | 高橋勝 | （民生委員） |
| 加藤紀子 | （学識経験者） | 中林かつ枝 | （民生委員） |

2 旧名寄市教育の沿革

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|-------|------------|---|
| 寛政10. | 7. * | 1798 幕府の属僚3名天塩川を遡り見聞す |
| 明治 5. | 10. 8 | 1872 上川地方(名寄)の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師 |
| | 30. 6. 1 | 1897 上名寄村(現名寄市)の称号を得る。 |
| | 35. 9. 1 | 1902 3村戸長役場庁舎新築落成開庁(大通1丁目) |
| | 9. 15 | 上名寄簡易教育所開設(M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16 名寄国民学校、S22 名寄小学校と改称) 教育の嚆矢である |
| | 36. 4. 8 | 1903 チェブン簡易教育所開設(M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 智恵文小学校と改称) |
| | 37. 7. * | 1904 曙簡易教育所開設(M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 曙小学校と改称) |
| | 38. 7. 1 | 1905 上名寄五線簡易教育所開設(M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 中名寄小学校と改称) |
| | 39. 4. * | 1906 有利里簡易教育所開設(M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞穂国民学校、S22 瑞穂小学校と改称) |
| | 6. 20 | 十八線簡易教育所開設(M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国国民学校、S22 共和小学校と改称) |
| | 42. 1. 17 | 1909 曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設(M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 弥生小学校と改称) |
| | 5. 28 | 智南教育所開設(T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 智南小学校と改称) |
| | 43. 12. 12 | 1910 智東教育所開設(T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 智東小学校と改称) |
| 大正 5. | 4. 1 | 1916 智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設(T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 智北小学校と改称) |
| | 6. 1 | 名寄尋常高等小学校日進分教場開設(S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 日進小学校と改称) |
| | 7. 4. 1 | 1918 名寄尋常高等小学校内淵特別教授場開設(T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 名寄小学校内淵分校と改称) |
| | 4. 1 | 智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設 |
| | 8. 7. 15 | 1919 智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設(T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 智西小学校と改称) |
| | 9. 6. 28 | 1920 名寄女子職業学校開校 |
| | 11. 4. 1 | 1922 北海道庁立名寄中学校開校(S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 北海道名寄高等学校と改称) |
| | 7. * | 名寄教会幼稚園開設(現 名寄幼稚園) |
| | 13. *. * | 1924 智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合 |
| | 9. 4 | 名寄南尋常小学校開校(S16 名寄国民学校、S22 名寄南小学校と改称) |
| | 10. 16 | 智南尋常小学校校舎全焼 |
| | 14. 11. 1 | 1925 智恵文女子実業補習学校開校(S3 智恵文実科女学校、S10 智恵文青年学校女子部と改称) |
| | 11. 7 | 名寄町処女会発足 |
| | 15. 4. 1 | 1926 青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置 |
| | 7. 1 | 智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設(S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 北山小学校と改称) |
| 昭和 2. | 4. 26 | 1927 名寄町立名寄高等女学校開校(S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 北海道名寄高等学校と改 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|--|
| 昭和 3. *. * | 1928 | 名寄女子連合青年団発足 |
| 5. 6. * | 1930 | 智恵文女子青年団発足 |
| 6. 11. * | 1931 | 曙尋常小学校新築移転 |
| 8. *. * | 1933 | 東山シャンツェ完成 |
| 10. 4. 1 | 1935 | 青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合） |
| 12. 10. 16 | 1937 | 北海道庁立名寄中学校全焼 |
| 14. 9. 7 | 1939 | 名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定 |
| 15. 11. 19 | 1940 | 曙尋常小学校全焼 |
| 16. 1. 20 | 1941 | 名寄町青年団発足（男女青年団解散） |
| 4. 20 | | 名寄町青少年団発足 |
| 4. 21 | | 北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 北海道名寄農業高等学校と改称） |
| 6. 15 | | 智恵文青少年団発足 |
| 20. 10. 1 | 1945 | 田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校 |
| 21. 6. 12 | 1946 | 名寄洋裁学校開校 |
| 22. 3. * | 1947 | 名寄文化協会設立 |
| 4. 1 | | 名寄女子職業学校募集停止 |
| 5. 20 | | 名寄中学校開校〔本校（名寄小学校）、分校：大橋（旧制名寄中学校）、旭東（旧制名寄高等女学校）、日彰（日彰青年会館）、瑞穂（瑞穂小学校）〕 |
| 6. 1 | | 智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校） |
| 23. 1. 10 | 1948 | 名寄町公民館設置（26年6月27日開館） |
| 3. 31 | | 名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止 |
| 4. 1 | | 名寄中学校北分校設置 |
| 4. 1 | | 名寄文化服装女学校開校 |
| 10. 1 | | 名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置 |
| 10. 5 | | 飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校 |
| 24. *. * | 1949 | 加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校 |
| 4. * | | 田辺服装塾閉鎖 |
| 5. 13 | | 体育指導委員会発足 |
| 8. 15 | | 名寄町公民館図書室開設 |
| 25. 1. 15 | 1950 | 名寄地方体育クラブ発足 |
| 4. * | | 名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合 |
| 7. 3 | | 名寄南小学校に養護教室設置 |
| 7. 13 | | 名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定 |
| 9. 13 | | 名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園 |
| 10. 1 | | 北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校 |
| 26. 1. 1 | 1951 | 中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校） |
| 1. 25 | | 名寄小学校御園分校設置 |
| 4. 1 | | 北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 北海道名寄北高等学校と改称） |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校に酪農科増設 |
| 4. 1 | | 名寄中学校旭東分校復活 |
| 4. 1 | | 名寄中学校北分校廃止 |
| 7. 24 | | 名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組 |
| 27. 2. 22 | 1952 | 曙小学校校舎全焼 |
| 4. * | | 智恵文公民館開設 |
| 4. 1 | | 智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校） |
| 4. 14 | | 名寄文化服装学校開校 |
| 8. 20 | | 名寄東中学校として分離（名寄中学校） |
| 10. 1 | | 名寄小学校東分校設置 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|--|
| 昭和28. 4. 1 | 1953 | 名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 名寄恵陵高等学校と改称） |
| 4. 1 | | 瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校） |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設 |
| 28. *. * | 1953 | 名寄文化服装女学校廃校 |
| 8. 1 | | 名寄町民学校開校 |
| 9. 18 | | 名寄体育協会結成 |
| 11. 1 | | 道立図書館分館開館 |
| 29. *. * | 1954 | 名寄町体育館建設 |
| 6. 1 | | 移動図書館あけぼの号巡回開始 |
| 8. 1 | | 智恵文村と合併、新名寄町発足 |
| 12. 1 | | 名寄小学校内渕分校廃止、スクールバス通学開始 |
| 30. *. * | 1955 | 名寄南小学校グラウンドにスケートリンク開設 |
| 4. 1 | | 名寄高等学校に商業科設置 |
| 4. * | | 名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定 |
| 8. 1 | | 名寄町営球場完成 |
| 31. 4. 1 | 1956 | 名寄市市制施行（全道21番目） |
| 32. 4. 1 | 1957 | 日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合） |
| 7. 24 | | 智北小学校改築落成 |
| 11. 1 | | 名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名） |
| 33. 1. 19 | 1958 | 名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会） |
| 4. 1 | 1958 | 名寄市視聴覚教育センター発足 |
| 4. 1 | | 名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を名寄東小学校御園分校と改称） |
| 4. 10 | | 光名幼稚園開園 |
| 5. 30 | | 名寄家政高等学校寄宿舎落成 |
| 7. 15 | | 名寄北高等学校校舎新築 |
| 8. 31 | | 第1回市民レクリエーション大会開催 |
| 11. * | | 第1回市民文化祭開催 |
| 34. 4. 1 | 1959 | 名寄西小学校開校 |
| 4. 1 | | 名寄小学校に知的障害児学級設置 |
| 4. 6 | | 大谷幼稚園開園 |
| 35. 4. 1 | 1960 | 名寄女子短期大学開学（H2 市立名寄短期大学と改称。） |
| 36. 4. 1 | 1961 | 市立名寄図書館設置 |
| 5. 15 | | 名寄市体育協会設立 |
| 37. *. * | 1962 | 緑丘シャンツェ開設 |
| | | 名寄文化服装学校廃校 |
| 4. * | | 名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始 |
| 6. 1 | | 名寄市民会館新築落成 |
| 10. 1 | | 青少年補導センター設置 |
| 38. 4. 1 | 1963 | 名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科1間口） |
| 5. 5 | | 第1回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定 |
| 10. 1 | | 名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設 |
| 10. 1 | | 瑞穂中学校、名寄東中学校に統合 |
| 10. 1 | | 名寄市青少年武道場開設 |
| | | 菊山スキー場、市営となる |
| 39. 9. 22 | 1964 | 名寄市教育研究所設立 |
| 11. 11 | | 名寄市勤労青少年ホーム開所 |
| 40. *. * | 1965 | 飯塚ドレスメーカー女学院廃校 |
| 10. 7 | 1965 | 名寄女子短期大学図書館落成 |
| 10. 20 | | 名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り） |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|-------|--------|---|
| 昭和41. | 4. 1 | 1966 名寄農業高等学校に生活科設置 |
| | 4. 1 | 名寄高等学校商業課程廃止 |
| | 4. 1 | 社会科副読本「なよろ」発行 |
| | 4. 25 | 学校給食センター市内全小中学校に給食開始 |
| 42. | 4. 1 | 1967 名寄高等学校に工業課程建築科増設 |
| | 4. 1 | 名寄農業高等学校林業科募集停止 |
| | 7. 1 | 新名寄市営球場竣工ならびに球場開き |
| | 7. 15 | 名寄市営プール開設（現西プール） |
| | 12. 15 | 青少年会館落成（43. 1. 5 開館） |
| 43. | 3. 27 | 1968 名寄東小学校御園分校廃止 |
| | 4. 1 | 智南中学校、名寄東中学校に統合 |
| 44. | 3. 31 | 1969 名寄北高等学校廃校 |
| 45. | 4. 1 | 1970 名寄南小学校、共和小学校、曙小学校3校統合（新名寄南小学校開校） |
| | 4. 1 | 名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置 |
| | 7. 31 | 名寄市プラネタリウム館完成 |
| | 8. 1 | 市立名寄図書館落成開館 |
| | 8. 1 | 市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始 |
| | 12. 30 | ピヤシリシャンツェ完成（70M級） |
| 46. | 3. 28 | 1971 第1回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝 80M） |
| | 4. 1 | 中名寄中学校、名寄中学校に統合 |
| | 9. * | やまゆり号による市内巡回文庫開始 |
| 47. | 1. 20 | 1972 名寄南小学校統合新校舎 |
| | 4. 1 | 智東小学校、名寄南小学校に統合 |
| | 4. 1 | 名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止 |
| | 9. 6 | 第21回全国僻地教育研究大会第6分科会開催（於日進小学校6～8日） |
| 48. | 1. 20 | 1973 名寄市働く婦人の家開設 |
| | 4. 1 | 視聴覚ライブラリー発足（名寄市視聴覚教育センターを吸収） |
| | 8. 14 | 名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m） |
| | 12. 23 | 国設ピヤシリスキー場開設 |
| | 12. * | 私設木原天文台開設 |
| 49. | 1. 28 | 1974 名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設 |
| | 4. 1 | 豊西小学校開校 |
| 50. | 2. 9 | 1975 第24回全国高等学校スキー選手権大会開催 |
| | 4. 1 | 名寄スポーツセンター落成、開館 |
| | 4. 1 | 名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離） |
| 51. | 4. * | 1976 豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設 |
| | 6. 18 | 全日本軟式卓球選手権大会（18～20日） |
| | 6. 30 | 智恵文簡易プール開設 |
| 52. | 4. 1 | 1977 智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合 |
| | 5. 2 | キマロキ編成名寄公園に展示 |
| 53. | 4. 1 | 1978 弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合 |
| | 12. 15 | 名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業） |
| | 12. 16 | 名寄スポーツセンター第2体育館開館 |
| 54. | 1. 21 | 1979 スキーを市技に指定 |
| | 2. 17 | 第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場） |
| | 4. 1 | 名寄南小学校に情緒障害学級設置 |
| | 4. 1 | 智南小学校、名寄西小学校に統合 |
| | 7. 16 | 天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査 |
| | 10. 1 | 第1回スポーツフェスティバル（スポーツセンター） |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|--------------|------|--|
| 昭和54. 12. 26 | 1979 | 市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署） |
| 55. * . * | 1980 | 名寄市社会教育推進協議会発足 |
| 2. 16 | | スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典(16～17日) |
| 4. 1 | | 名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換 |
| 5. 13 | | 「名寄ピヤシリ大学」開設 |
| 5. 22 | | 「友朋学級」開設 |
| 8. 1 | | 「フーコーの振子」開設 |
| 8. 17 | | 土俵場完成（スポーツセンター南庭） |
| 56. 4. 1 | 1981 | 名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離 |
| 4. 1 | | 豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設 |
| 5. 30 | | 名寄岩頭彰像除幕式 |
| 57. 3. 20 | 1982 | 名寄東中学校校舎完成 |
| 3. 21 | | 智北小学校、智恵文小学校に統合 |
| 3. 31 | | 名寄農業高等学校定時制閉課 |
| 4. 1 | | 小学校通学区の一部変更（西町3区が豊西小に） |
| 4. 1 | | 智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立 |
| 4. 1 | | 名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格 |
| 7. 3 | | 天塩川河川サッカー場オープン |
| 12. 14 | | 名寄工業高校校舎完成 |
| 58. 6. 1 | 1983 | 小中学校生徒指導協議会発足 |
| 6. 27 | | 名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典 |
| 7. 31 | | 名寄市民文化センター完成(社会教育課、市民会館から移転) |
| 11. 22 | | 郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎） |
| 59. 3. 24 | 1984 | 名寄恵陵高等学校校舎完成、移転 |
| 4. 1 | | 日進小学校、名寄小学校に統合 |
| 4. 1 | | 名寄女子短期大学、児童専攻課程設置 |
| 12. * | | 名寄農業高等学校校舎完成 |
| 60. 7. 1 | 1985 | 名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる |
| 7. 1 | | 旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放 |
| 8. 20 | | 移動図書館車「やまゆり号」購入 |
| 61. 3. 25 | 1986 | 第64回全日本スキー大会（滑降競技大会 25～27日） |
| 5. 31 | | 名寄市シニアリーダーサークル（NAC）発会 |
| 7. 10 | | スーポロ碑建立 |
| 12. 12 | | 智恵文中学校改築 |
| 62. 9. 26 | 1987 | 道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター） |
| 10. 20 | | 理科副読本「郷土の自然なよろ」発行 |
| 12. 5 | | 中名寄小学校改築 |
| 平成元. 2. 19 | 1989 | はまなす国体歩くスキー大会 |
| 6. 25 | | 札幌グリーンコンサート |
| 7. 28 | | 体験王国ほっかいどう |
| 9. 4 | | 名寄東小学校起工式 |
| 2. 4. 1 | 1990 | 名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称 |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換 |
| 6. 9 | | 名寄海洋センター（プール）完成 |
| 6. 28 | | 名寄市麻生ゲートボール場完成（3面） |
| 7. 25 | | 第34回全道公民館大会開催 |
| 8. 25 | | 名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面） |
| 11. 18 | | 開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会 |
| 11. 25 | | 名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|---|
| 平成 3. 8. 4 | 1991 | 土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき） |
| 12. 24 | | 名寄市学校給食センター改築 |
| 4. 1. 19 | 1992 | 名寄市新学校給食センター供給開始 |
| 4. 1 | | 名寄中学校に情緒学級開設 |
| 4. 20 | | 児童センター開館 |
| 9. 11 | | 名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈） |
| 9. 12 | | 学校週5日制開始 |
| 11. 19 | | スポーツセンター大改修完了 |
| 5. 3. 31 | 1993 | スポーツセンター第2体育館増築（302.4 m ² ） |
| 4. 1 | | 小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行 |
| 6. 30 | | 智恵文中学校水泳プール全面改修 |
| 7. 1 | | 図書館日曜開館 |
| 9. 30 | | 西小学校校舎改築落成 |
| 12. 15 | | 名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催 |
| 6. 4. 1 | 1994 | 名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設 |
| 4. 1 | | 名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換 |
| 8. 5～8 | | 山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問 |
| 8. 6 | | 大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催 |
| 11. 30 | | ピヤシリシャンツェ・ミダイヤモンドヒル造成工事完成 |
| 7. 3. 31 | 1995 | 菊山スキー場閉鎖 |
| 4. 1 | | 名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設 |
| 11. 16 | | 名寄市営球場改修工事完成 |
| 8. * * * | 1996 | 北海道文化服装名寄専門学校廃校 |
| 2. 10 | | 北国博物館開館 |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換 |
| 4. 1 | | 教育相談電話「ハートダイヤル」開設 |
| 5. 26 | | なよろ健康の森陸上競技場オープン |
| 9. 4. 1 | 1997 | (財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館） |
| 5. 13 | | 名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定(文部省より3ケ年) |
| 6. 12 | | 第36回全道博物館大会開催 |
| 8. 15 | | 博物館大型資料収蔵庫開設 |
| 10. 26 | | 名寄中学校開校50周年記念式典 |
| 11. 30 | | 智恵文中学校開校50周年記念式典 |
| 10. * * * | 1998 | 名寄服飾専門学校休校 |
| 2. 3 | | 名寄図書館と北海道道立図書館間コンピュータオンライン化 |
| 4. 1 | | (財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台） |
| 4. 11 | | 南児童クラブ開設 |
| 6. 11 | | 名寄南小学校に肢体不自由児学級設置 |
| 7. 1 | | 名寄市教育振興協議会発足 |
| 10. 20 | | 名寄小学校校舎竣工 |
| 11. 4. 1 | 1999 | 特認校制度スタート |
| 6. 2 | | 図書館水木夜間開館試行開始 |
| 10. 3 | | 名寄西小学校40周年記念式典 |
| 10. 12 | | 小学校7校にコンピュータ導入 |
| 12. 3. 1 | 2000 | 恵陵高校生徒募集停止 |
| 3. 24 | | 名寄工業高等学校廃止 |
| 4. 12 | | 名寄光凌高等学校新設 |
| 5. 16 | | なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン |
| 8. 1 | | 名寄市開拓 100年記念式典 |

| 年 代 | 西 曆 | 特 記 事 項 |
|-------------|------|--|
| 平成12. 10. 1 | 2000 | 恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会 |
| 10. 20 | | 中学校3校コンピュータ更新 |
| 10. 27 | | 市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」 |
| 13. 9. 1 | 2001 | 市教委でリーダーバンク設置 |
| 14. 3. 1 | 2002 | 名寄光凌高等学校電気科、建築科閉科 |
| 3. 31 | | 名寄恵陵高等学校閉校 |
| 4. 1 | | 完全学校週5日制開始 |
| 6. 8 | | 名寄公園パークゴルフ場オープン |
| 7. 3 | | 北国博物館入場者10万人達成 |
| 7. 18 | | 学校評議員制度導入（名寄小・名寄中） |
| 9. 1 | | 名寄東中学校50周年記念式典 |
| 9. 22 | | 名寄小学校100周年記念式典 |
| 10. 1 | | ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修 |
| 10. 19 | | 名寄高等学校80周年記念式典 |
| 15. 2. 22 | 2003 | 第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催 |
| 5. 13 | | 学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中） |
| 16. 3. 8 | 2004 | 図書館蔵書インターネット検索システム稼動 |
| 8. 7 | | 中名寄小学校開校100周年記念式典 |
| 9. 1 | | 市営テニスコート改修（オムニコート2面、グリーンサントコート4面、夜間照明2基、観覧席） |
| 10. 24 | | 名寄南小学校開校80周年記念式典 |
| 11. 27 | | 智恵文小学校開校100周年記念式典 |
| 17. 2. 10 | 2005 | 豊西小学校開校30周年記念集会 |
| 17. 12. 9 | | 北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結 |

3 旧風連町教育の沿革

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|-------------|------|---|
| 明治35. 3. * | 1902 | 20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める |
| 9. 25 | | 下多寄簡易教育所開設 (M38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 下多寄小学校と改称) |
| 36. 11. * | 1903 | 部落民の寄付により25線東7号に教場設置 |
| 37. 1. 20 | 1904 | フーレベツ簡易教育所開設 (同年 風連簡易教育所、M39 風連尋常小学校と改称) |
| 41. 10. 19 | 1908 | 西風連尋常小学校設置 (T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 風連小学校と改称) |
| 11. 3 | | フーレベツ特別教授所開設 (M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 風連旭小学校と改称) |
| 11. 24 | | 風連教育所開設 (M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 日進小学校と改称) |
| 42. 7. 30 | 1909 | 西風連尋常小学校校舎新築移転 |
| 10. 23 | | 東風連尋常小学校設置 (S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 東風連小学校と改称) |
| 44. 7. 12 | 1911 | 下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設 (T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い西風連小学校と改称) |
| 8. 27 | | 東風連尋常小学校校舎移転新築 |
| 大正11. 9. 13 | 1922 | 多寄村連合青年団結成 |
| 15. *. * | 1926 | 青年訓練所設置 |
| 昭和 3. 11. * | 1928 | 風連家政女学校開設 |
| 4. 11. 1 | 1929 | 下多寄尋常小学校校舎改築 |
| 6. 10. 3 | 1931 | 風連尋常高等小学校校舎改築 |
| 7. 5. 22 | 1932 | 東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所 (S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い忠烈布小中学校と改称) |
| 7. * | | 裁縫教授所開所 (後の加藤学園) |
| 8. 11. * | 1933 | 日進尋常高等小学校校舎改築 |
| 12. 17 | | 風連旭尋常小学校校舎改築 |
| 10. * | 1935 | 青年学校設置 |
| 11. 9. 11 | 1936 | 西多寄尋常小学校校舎新築移転 |
| 14. 7. * | 1939 | 青年学校義務制となる |
| 16. 4. 1 | 1941 | 尋常小学校が国民学校に改められる (初等科6年、高等科2年) |
| 21. 8. * | 1946 | 風連村連合青年団設立 |
| | | 岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設 (後の高橋洋裁女学院) |
| 22. 4. 1 | 1947 | 国民学校が小学校に改められ高等科廃止 |
| | | 風連中学校設置、風連小学校に併置 |
| 5. 1 | | 下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置 |
| 23. 10. 28 | 1948 | 風連連合婦人会設立 |
| 12. 15 | | 風連中学校校舎新築 |
| 24. 4. 1 | 1949 | 各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止 |
| | | 風連村公民館設置 |
| 11. 1 | | 東生小学校設置 |
| 25. 8. 25 | 1950 | 忠烈布小学校に風連中学校分校併設 |
| 11. 1 | | 日進中学校設置 |
| 26. 1. 15 | 1951 | 名寄農業高等学校風連分校開校 (S28 風連高等学校と改称) |
| 12. * | | 日進中学校校舎新築移転 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|------------------------------------|
| 昭和27. 4. 1 | 1952 | 忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置） |
| 11. 1 | | 風連村教育委員会設置 |
| 28. 4. 1 | 1953 | 「風連町教育是」制定 |
| 5. 3 | | 第1回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会（風連→名寄） |
| 29. 5. 10 | 1954 | 風連幼稚園開設 |
| 30. 11. 26 | 1955 | 西多寄小中学校全焼 |
| * | | 風連町父母と先生の会連合会設立 |
| 31. 10. 2 | | 西多寄小中学校新築 |
| * | | 風連町児童生徒校外補導協議会設立 |
| 34. 10. ↓ | 1959 | 第1回健民大運動会 |
| 11. 12 | | 下多寄小学校新築落成 |
| 37. 1. 24 | 1962 | 風連町若妻会設立 |
| 9. * | | 忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典 |
| 39. 3. 31 | 1964 | 忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合） |
| | | 風連高等学校道立移管 |
| 4. 11 | | 風連中学校全焼 |
| 5. 29 | | 風連町中核農民学校開校 |
| 10. 3 | | 風連中学校校舎落成式 |
| 40. 4. * | 1965 | 風連町連合青年会設立 |
| 7. * | | 町営プール完成 |
| * | | 婦人学級・家庭教育学級開設 |
| 41. 1. 31 | 1966 | 風連町体育協会設立 |
| 42. 2. * | 1967 | 町内初のスケートリンク造成 |
| 6. * | | 消防本部2階を公民館図書室として開設 |
| 43. 12. * | 1968 | 風連町営スキー場開設 |
| 45. 3. * | 1970 | 近藤育英基本条例制定 |
| 7. * | | 日進小学校に簡易プール完成 |
| 45. 11. * | 1970 | 町営ヒュッテ建設 |
| 46. 3. 31 | 1971 | 東生小学校閉校（日進小学校に統合） |
| 4. 1 | | 風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合） |
| 7. * | | 風連町スポーツ少年団本部設立 |
| | | 風連町子ども会育成連絡協議会設立 |
| 12. * | | 風連町新生活運動推進委員会設立 |
| 47. 6. 30 | 1972 | 風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 瑞生大学と改称） |
| 7. * | | 町内7カ所史跡標示板を設置 |
| 9. * | | 全国へき地教育研究大会開催 |
| 9. 12 | | 風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式 |
| 12. 7 | | 風連小学校閉校式 |
| 12. 14 | | 風連中央小学校校舎新築落成 |
| 48. 1. 20 | 1973 | 風連中央小学校開校式 |
| 7. * | | 初の屋根付き町営プール完成 |
| 9. 2 | | 学校給食センター完成 |
| 10. 1 | | 町内小中学校の学校給食スタート |
| 10. 30 | | 東風連小学校校舎完成 |
| 49. 4. 1 | 1974 | 米飯給食の開始（完全給食） |
| 50. 5. * | 1975 | 旭公民館に「愛の鐘」設置 |
| 10. * | | 風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成 |
| 52. 5. * | 1977 | 風連町婦人団体連絡協議会設立 |
| 11. 8 | | 日進小中学校校舎改築落成 |
| 53. 2. * | 1978 | 風連町連合婦人会結成30周年記念式典 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|-----------|------|---|
| 昭和53. * | 1978 | 日進小学校と日進中学校が併置校となる |
| 5. * | | 教育委員会にマイクロバス導入 |
| 54. 7. * | 1979 | 町営球場完成 |
| * * | | 風連町陶芸センター完成 |
| 9. * | | ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事） |
| 55. 10. * | 1980 | 風連の未来を築く会設立 |
| | | 旧役場庁舎を武道場として改修 |
| 56. 9. * | | 西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典 |
| 12. * | | 風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成 |
| | | 町営スキー場に20m級ジャンプ台新設 |
| 57. 8. * | 1982 | 第1回町民運動会 |
| 10. * | | 風連町生徒指導連絡協議会設立（平成4年に生徒指導推進協議会に改称） |
| 59. 3. 31 | 1984 | 西風連中学校閉校（風連中学校に統合） |
| 10. * | | 風連町連合青年会創立20周年記念式典 |
| 60. 11. * | 1985 | 町営第2球場完成 |
| 61. 4. * | 1986 | 風連町日進剣道スポーツ少年団設立 |
| 62. 6. * | 1987 | 風連町新生活運動推進会議設立 |
| 9. 2 | | 風連中学校に教育用コンピュータ導入（47台） |
| 10. * | | 東地区ゲートボール場完成 |
| 11. 7 | | 風連高等学校校舎改築落成記念式典 |
| 12. * | | 風連町就学指導委員会設立 |
| 63. 5. * | 1988 | 東地区運動広場にテニスコートオープン |
| 6. * | | 風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入 |
| 8. * | | 初の外国人英語指導助手を招致 |
| 平成元. 5. * | 1989 | B & G 風連海洋クラブ設立 |
| 6. * | | B & G 財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン） |
| 2. 2. * | 1990 | B & G 財団風連海洋センタープール完成 |
| 4. * | | 風連町歴史民俗資料館開館 |
| 6. * | | 風連高等学校教育振興協議会設立 |
| 8. * | | 風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会 |
| 10. * | | 風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い |
| 3. 8. 24 | 1991 | 西風連小学校開校80周年記念式典 |
| 9. * | | 風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる |
| 12. * | | 初の杉並区・風連町子ども交流会 |
| 4. 1. * | 1992 | 風連町若妻会創立30周年記念式典 |
| 2. 27 | | 「風連町瑞生大学校歌」制定 |
| 6. * | | B & G 財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡 |
| 10. * | | 風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典 |
| | | 日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町） |
| 5. 2. 10 | 1993 | 下多寄小学校校舎完成 |
| | | 下多寄小学校コミュニティスクール開設 |
| 5. 1 | | 小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行 |
| 6. 27 | | 下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典 |
| 6. 2. * | 1994 | 東京都港区交流の「風港会」設立 |
| | | 風連町サンシャインホール完成 |
| | | カンガルーのポケット事業の実施 |
| 7. * | | 日進小中学校に屋根付プール完成 |
| | | 風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立 |
| 12. 5 | | 風連幼稚園新園舎完成 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|--|
| 平成 7. 9. * | 1995 | 旧旭小学校記念碑建立除幕式 |
| 8. 3. 31 | 1996 | 西風連小学校閉校（下多寄小学校に統合） |
| 8. 4. * | | 風連町青年会設立 |
| 8. * | | 風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア） 風連町教育委員会に新型バス導入 |
| 8. 10. * | 1996 | 風連町体育協会創立30周年記念式典 |
| 9. 9. 20 | 1997 | 風連中学校開校50周年記念式典 |
| 10. 4. 1 | 1998 | 風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「EMOTION&POWER（感動と力）」施行 |
| 4. 1 | | 風連町児童クラブの設置 |
| 4. 22 | | 杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈 |
| 11. *.* | 1999 | 教育用コンピュータ導入（風連中央小学校） |
| 5. 1 | | 公民館そよかぜ事業の実施 |
| 9. * | | 東風連小学校開校90周年記念式典 |
| 12. * | | 「風連町の石碑と史跡」発行 |
| 12. 4. 1 | 2000 | 小学校英会話活動推進モデル事業の実施 |
| 7. 1 | | 学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校） |
| 10. 27 | | 福祉センター増築（研修室） |
| 13. *.* | 2001 | 東地区運動広場パークゴルフ場オープン |
| 3. 7 | | 風連町瑞生大学創立30周年記念式典 |
| 5. 16 | | 心の教室相談員の配置（風連中学校） |
| 5. 30 | | スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間 |
| 6. 24 | | 下多寄小学校開校100周年記念式典 |
| 9. 8 | | 風連高等学校創立50周年記念式典 |
| 14. *.* | 2002 | 教育用コンピュータ導入（日進中学校） |
| 3. 31 | | 小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行 |
| 4. 1 | | 教育相談員の配置 |
| 4. 1 | | 文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校） |
| 5. 2 | | 民間指導者派遣事業の実施 |
| 9. 1 | | 風連町地域教育推進協議会の設置 |
| 9. 1 | | 風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置 |
| 9. 1 | | ふうれんっ子ひろばの実施 |
| 11. 8 | | 小学校道徳非常勤講師配置事業の実施 |
| 15. *.* | 2003 | 教育用コンピュータ導入（下多寄小学校・東風連小学校） |
| 4. 1 | | ブックスタート事業の実施 |
| 4. 26 | | 風連スポーツクラブ「ポポ」の設立 |
| 5. 1 | | 文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間 |
| 10. 25 | | 風連幼稚園設立50周年記念式典 |
| 16. 3. * | 2004 | 「ふうれんちょうのはし」発行 |
| 17. *.* | 2005 | 教育用コンピュータ導入（日進小学校） |
| 4. 1 | | 風連町子ども教室の実施 |
| 5. 24 | | 教育相談支援事業の実施（風連中学校） |

4 名寄市教育の沿革

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|-------|--------|--------------------------------------|
| 平成18. | 3.27 | 2006 風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生 |
| | 4. 1 | 体育施設の指定管理者制度導入 |
| | 4. 7 | 名寄市立大学開学 |
| | 11.11 | 「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、5シート） |
| | 12. 1 | 図書館電算システム運用開始 |
| 19. | 3. 1 | 2007 名寄光凌高等学校普通科閉科 |
| | 3.31 | 西プール閉鎖 |
| | 4. 1 | 給食センター統合 |
| | 4.24 | 全国学力・学習状況調査実施 |
| | 5.19 | 市営南水泳プール改築・オープン |
| | 8. 7 | 移動図書館「やまゆり号」更新 |
| | 8.18 | 日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典 |
| 20. | 3. * | 2008 風連高等学校募集停止 |
| | 4. * | 学校職員評価制度導入 |
| | 4. 1 | 学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小） |
| | 6.24 | 名寄市小学校陸上大会閉幕 |
| | 6. * | 北海道体力・運動能力調査実施 |
| 21. | 3.24 | 2009 名寄光凌高等学校閉校 |
| | 3. * | 名寄農業高等学校募集停止 |
| | 4. 9 | 名寄産業高等学校開校 |
| | 7. 4 | 名寄西小学校開校50周年記念「ふれあい」の集い |
| | 7.23 | 「九度山 クトゥンヌプリ」国・名勝指定 |
| | 8.23 | 東風連小学校開校100周年記念式典・祝賀会 |
| | 9.23 | 名寄大谷幼稚園創立50周年記念祝賀会 |
| | 10. 4 | 名寄西小学校開校50周年式典 |
| | 10.27 | 名寄ピヤシリ大学開学30周年記念式典 |
| | 11.29 | 名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館 |
| 22. | 3.31 | 2010 風連高等学校閉校 |
| | 4.12 | ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン |
| | 4.17 | なよろ市立天文台「きたすばる」オープン |
| | 10.21 | キマロキ編成「JR北海道準鉄道記念物」指定 |
| | 11. 3 | 名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典 |
| | 12.16 | 風連中学校「校舎移転開校式」 |
| | 12.18 | 名寄農業高校閉校記念式典 |
| 23. | 1.11 | 2011 名寄東小学校屋内運動場改築 |
| | 4.29 | なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン |
| | 7. 3 | 風連下多寄小学校開校110周年記念式典・祝賀会 |
| | 9. 5 | 名寄市放課後子ども教室（試行）開設 |
| 24. | 2. 1～4 | 2012 第49回全国中学校スキー大会開催 |
| | 5. 9 | 名寄市放課後子ども教室開設 |
| | 5.18 | 名寄市教育改善プロジェクト委員会発足 |
| | 5.22 | 名寄東中学校開校60周年記念親睦の集い |
| 25. | 2.24 | 2013 日進スケートリンク終了 |
| | 3. 2 | 風連日進小中学校閉校式・惜別会 |
| | 3.31 | 風連日進小中学校閉校 |
| | 4. 1 | ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」指定管理者制度導入 |
| 26. | 2.16 | 2014 なよろ市立天文台と国立天文台石垣島天文台と交流協定締結 |

| 年 代 | 西 暦 | 特 記 事 項 |
|------------|------|---------------------------------------|
| 26. 7. 1 | 2014 | 名寄公園「北の造園遺産」に認定 |
| 27. 5. 9 | 2015 | 市民文化センター大ホール「EN-RAY」開館 |
| 28. 2. 2～5 | 2016 | 第53回全国中学校スキー大会（ノルディック）開催 |
| 2. 16 | | 名寄西小学校校舎増築 |
| 2. 20 | | 東風連小学校閉校式・惜別会 |
| 2. 27 | | 豊西小学校閉校式・惜別会 |
| 2. 29 | | 名寄南小学校校舎・屋内運動場改築 |
| 3. 31 | | 豊西小学校閉校 |
| 3. 31 | | 東風連小学校閉校 |
| 4. 1 | | 南児童クラブ改築 |
| 12. 1 | | 東児童クラブ開設 |
| 29. 1. 27 | 2017 | 名寄市文化協会60周年記念式典祝賀会 |
| 30. 7. 28 | 2018 | 北海道150年松浦武四郎生誕200年記念式典 |
| 10. 11 | | 第62回北海道公民館大会inなよろ開会 |
| 31. 1. 16 | 2019 | 風連中央小学校校舎・屋内運動場改築 |
| 2. 2 | | 風連下多寄小学校閉校式・惜別会 |
| 3. 31 | | 風連下多寄小学校閉校 |
| 令和元. 5. 18 | | 風連中央小学校校舎・屋内運動場落成記念式典 |
| 8. 24 | | 風連中央小学校50周年パーティー |
| 2. 2. 27 | 2020 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため小中学校臨時休業（～3. 25） |
| 4. 1 | | 名寄産業高校学科再編により機械・建築システム科創設（4間口が3間口になる） |
| 4. 20 | | 国の緊急事態宣言指定地区に伴う小中学校臨時休業（～5. 31） |
| 2. 10. 15 | | 風連町文化協会創立50周年記念事業「出逢いの森句碑」移設記念除幕式 |
| 3. 3. | 2021 | GIGAスクール構想児童生徒一人一台端末導入 |
| 4. 2. 25 | | 風連瑞生大学創立50周年記念式典 |

題字

前名寄市教育委員会教育長 小野 浩一

令和4年度版

「教育なよろ」

令和4年8月発行

編集・発行 名寄市教育委員会
